

BUFFALO

ローカルプリントサーバ

**LSPシリーズ
ユーザーズマニュアル**

本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられています。

本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

本書では™、®、©などのマークは記載していません。

本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。

本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。

また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記にかかわらず弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

また弊社は、本製品に関して海外での保守および技術サポートは行っておりません。

本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。

安全にお使いいただくために必ずお守りください



お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。

正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。







パソコンの故障/トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障/トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

本書に使われている表示と絵記号の意味

警告表示の意味

 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

	は、警告・注意を促す記号です。 の中や近くに具体的な警告内容（例：  感電注意）が描かれています。
	に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：  分解禁止）
	は、しなければならない行為を示す記号です。 の中や近くに、具体的な指示内容（例：  プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



警告



強制

本製品を使用する際は、必ずパソコンメーカーが提示する警告、注意指示に従ってください。



分解禁止

本製品の分解や改造はしないでください。火災や感電の恐れがあります。



警告



ACアダプタを
抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにACコンセントからACアダプタを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。

弊社インフォメーションセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。



ACアダプタを
抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐにACアダプタをACコンセントから抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。



禁止

AC100V (50/60Hz) 以外のACコンセントには、絶対にACアダプタを差し込まないでください。

海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。



強制

ACアダプタ、信号ケーブルは、必ず本製品付属のものをお使いください。

本製品付属以外のACアダプタ、信号ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。



ACアダプタを
抜く

本製品の取り付け / 取り外しをするときは、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチを切り、プラグをACコンセントから抜いてください。

電源ケーブルがコンセントに接続されたまま取り付け / 取り外しを行うと、感電の原因となります。



強制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取扱方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。



強制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。



警告



禁止

ACアダプタを傷つけたり、加工、過熱、修復しないでください。

火災になったり、感電する恐れがあります。

設置時に、電源ケーブルを壁やラック（柵）などの間にはさみ込んだりしないでください。

重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。

熱器具に近付いたり、過熱しないでください。

電源ケーブルを抜くときは、必ずACアダプタを持って抜いてください。

極端に折り曲げないでください。

電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社インフォメーションセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。



強制

ACアダプタは、ACコンセントに完全に差し込んでください。

差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。



ACアダプタを
抜く

液体や異物などが内部に入ったら、ACコンセントからACアダプタを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。



水場での
使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電する恐れがあります。



注意



禁止

ACアダプタがACコンセントに接続されているときには、濡れた手で本製品に触らないでください。

感電の原因となります。



強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損させる恐れがあります。



強制

ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア（フロッピーディスク、MOディスクなど）にバックアップしてください。

特に修復、再現ができない重要なデータ（顧客データ、財務データ、人事データ、その他あなたにとって重要なデータ）は、オリジナルの更新前、更新後と、常に2重のバックアップを作成されることをおすすめします。

以下のような場合に、データは消失、破損する恐れがあります。

誤った使い方をしたとき

静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき

故障・修理などのとき

パソコンの電源スイッチをOFFにした直後にすぐ電源スイッチをONにしたとき

長時間使っていなかったために電池が自然放電したとき

天災による被害を受けたとき

上記の場合、またその他いかなる場合でも、ハードディスク内のデータが消失、破損したことによる損害については弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。



強制

ソフトウェアをインストールする、ハードウェアを取り付ける・取り外すなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更の前に必ずハードディスクのバックアップを作成してください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

データが消失、破損したことによる損害については弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。



注意



禁止

ハードディスク、MO、フロッピードライブなどデータ格納用機器へのアクセス中は、パソコンや機器の電源をOFFにしたり、リセットしないでください。

データが消失、破損する恐れがあります。データが消失、破損したことによる損害については弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。



禁止

アプリケーションソフトの動作中に電源を切ったり、リセットしないでください。

データが消失、破損する可能性があります。データが消失、破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。



禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

強い磁界が発生するところ

故障の原因となります。

静電気が発生するところ

故障の原因となります。

震動が発生するところ

けが、故障、破損の原因となります。

平らでないところ

転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。

温度・湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ

故障の原因となります。

直射日光が当たる場所

故障や変形の原因となります。

火気の周辺、または熱気のかもるところ

故障や変形の原因となります。

漏電の危険がある場所

故障や感電の原因となります。

漏水の危険がある場所

故障や感電の原因となります。

目次

第 1 章	本製品の概要	1
1-1	ローカルプリントサーバとは	2
1-2	LSPの特長	3
1-3	パッケージの内容	4
1-4	各部の名称	5
1-5	LSPを利用したネットワーク	6

第 2 章	ハードウェアのセットアップ	9
2-1	セットアップの概要	10
2-2	ネットワークとの接続	11
2-3	プリンタまたはパソコンへの接続	12
2-4	送信機・受信機モードの設定	14
2-5	電源の接続	15

第 3 章	LSPマネージャについて	17
3-1	LSPマネージャとは	18
3-2	LSPマネージャの機能	18
3-3	LSPマネージャのインストールと設定について	19

第 4 章	LSPマネージャのインストール	21
4-1	Windows95へのインストール	22
4-2	Windows3.1へのインストール	27
4-3	WindowsNT4.0へのインストール	36
4-4	WindowsNT3.51へのインストール	45

第5章	LSPマネージャの設定	49
5-1	LSPマネージャの操作	50
5-2	LSPマネージャで出力先を設定する	53
5-3	ネットワーク上のLSPを接続する	55
5-4	LSPの名称変更	57
5-5	プリンタスプーラ	59

第6章	DOS版LSPマネージャについて	63
6-1	MS-DOSへのインストール	64
6-2	LSPマネージャの操作方法	69
6-3	LSPマネージャの使用方法	70

第7章	プリントアウトのしかた	75
7-1	プリントアウトのパターン	76
7-2	パターン1(LSPマネージャをインストールしたパソコン LSP)の場合 ..	77
7-3	パターン2(パソコン + LSP LSP)	80
7-4	使用に際しての注意事項	81

第8章	Q & A 情報	83
	インストール編	84
	プリント編	84
	Windows95編	87

製品仕様	89
------------	----

本書の使い方

このたびは弊社製品をお買い求め頂きましてまことにありがとうございます。
本書は、ローカルプリントサーバLSPシリーズ(以後、LSPと表記します)についてネットワークへの接続方法やプリンタとの接続方法およびインストール方法、使用方法について解説しています。本書の内容をよく読んで、理解してからご使用ください。

なお、本書はいつもお手元に置いてご使用ください。

本書の構成

第1章 本製品の概要

LSPを使用する場合のネットワーク構成など基本的な内容が記載されています。

第2章 ハードウェアのセットアップ

LSPとネットワークの接続方法およびプリンタ、パソコン、弊社製プリンタネットワークP-netとの接続方法について記載しています。

第3章 LSPマネージャについて

LSPマネージャの概要について記載しています。

第4章 LSPマネージャのインストール

LSPマネージャのインストール方法についてOS別に記載しています。

第5章 LSPマネージャの設定

LSPマネージャの使用方法および設定方法について記載しています。

第6章 DOS版LSPマネージャについて

MS-DOSでのLSPマネージャのインストール方法と使用方法について記載しています。

第7章 プリントアウトのしかた




















LSPネットワークにおける各パソコンからのプリント方法について記載しています。

第8章 Q&A情報

インストールや印刷のときに発生する問題をQ&A方式で記載しています。

マニュアルの読み方

本書中の説明や操作例は、DOS/V機、PC98-NXシリーズでの例を中心にしています。
NEC PC-9821/9801シリーズを使用している方は、操作説明や事例において、以下の相違点リストの各項目を変更してください。

DOS/V機、PC98-NXシリーズ	PC-9821/9801シリーズ
 キー	 キー
 キー	 キー
 ~  キー	 ~  キー
 /  キー	 /  キー
 /  キー	 /  キー
 +  + 	リセットスイッチを押す
デフォルトHDDドライブ C:	デフォルトHDDドライブ A:
デフォルトFDドライブ A:	デフォルトFDドライブ B:
LPTポート、COMポート	PRNポート
割り込み番号(IRQ)	割り込みレベル(INT)



MEMO

Chapter 1

第1章 本製品の概要

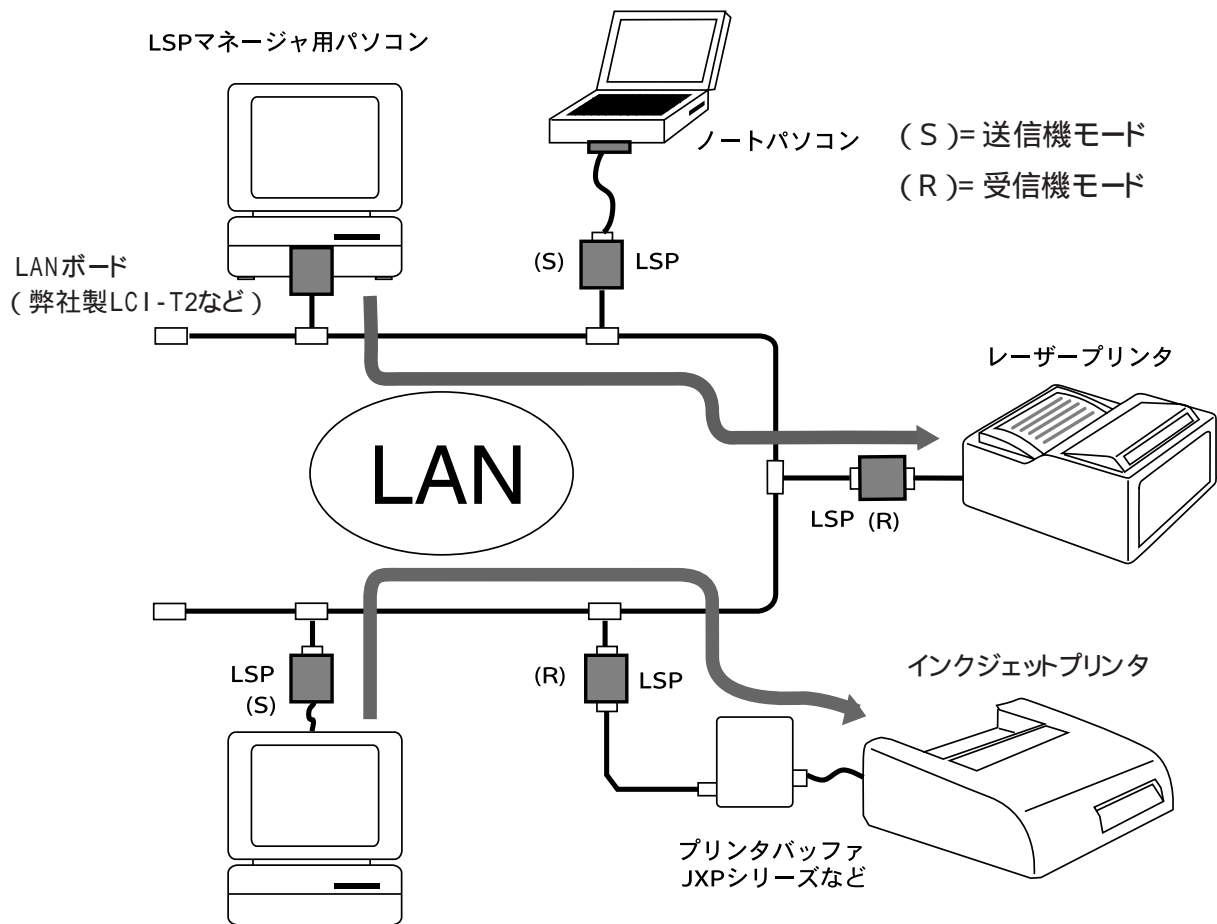
本章ではLSPを用いたネットワークの概要について解説します。

- 1-1 ローカルプリントサーバとは
- 1-2 LSPの特長
- 1-3 パッケージの内容
- 1-4 各部の名称
- 1-5 LSPを利用したネットワーク

1-1 ローカルプリントサーバとは

本製品LSPはイーサネットを使用したLAN(ローカル・エリア・ネットワーク)内でプリンタを接続して、LANに接続されたパソコンから簡単にプリンタに出力することができるものです。

通常、ネットワークにおいてはファイルサーバやプリンタサーバに接続してプリンタを共有するネットワークプリンタが一般的ですが、LSPを使用するとプリンタ接続用のパソコンが不要になります。ネットワーク上に何台ものプリンタを接続することができるだけでなく、LANボードがないパソコンでもネットワークを介して印刷することができます。



<LSPを用いたネットワーク構成例>

1-2 LSPの特長

プリンタ接続用のパソコンを使わずにネットワークプリンタとして共有可能
専用のパソコンが不要なため経済的です。

プリンタネットワークからもネットワークプリンタとして共有可能

弊社製プリンタネットワークP-netとイーサネット間のプロトコル変換が可能です(LSP-LP2/LPTタイプ)。プリンタネットワークで接続されているプリンタも簡単にLANで利用することができます。

ユーティリティにより高速印刷が可能

ユーティリティによりパソコンから直接プリントデータを受信して印刷ができ、プリンタ直結時と同等のパフォーマンスが得られます。

ネットワークプロトコルはメルコオリジナル

独自プロトコルのため、WEB、簡単WEB、NetWare、NetWare Liteなどに影響を与えることなく混在が可能です。そのため印刷時には、NetWare、WEB等のサーバを介さず印刷するので、サーバに負担がかかりません。なお、Windows3.1/DOS上ではODIドライバを使用します。NetWare3.1Xでは、IPXではなく、ODIドライバを使用してください。

NetWareのプリントキューの設定は、一切ありません。

Windows95では「エンハンスモード(32ビットまたは16ビット)NDISドライバ」を使用します。

LSPは1台で送信機と受信機どちらか一方に設定することができます

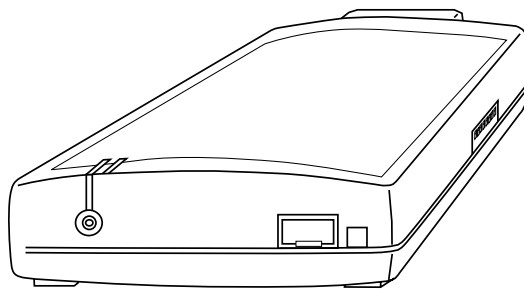
LSPは、ディップスイッチの設定により送信機、受信機の2つのモードのいずれかに設定できます。送信機として使用すれば、LANに接続できないパソコンからも、プリンタを共有できます。また、ネットワークの形態に合わせて10BASE-Tと10BASE2の2種類があります。

1-3 パッケージの内容

本製品には以下のものが梱包されています。
万が一不足しているものがございましたら、販売店にご連絡ください。
なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

【梱包品の内容】

LSP本体 1台



ローカルプリントサーバユーティリティ for Windows95

● NEC、DOS/V共用(1.44MB) 1枚

ローカルプリントサーバユーティリティ for WindowsNT4.0/3.51

● NEC、DOS/V共用(1.44MB) 1枚

ローカルプリントサーバユーティリティ for Windows3.1

● DOS/V用(1.44MB) 1枚

● NEC用(1.25MB) 1枚

LSPシリーズユーザズマニュアル(本書) 1冊

ACアダプタ 1個

モジュラケーブル(5m) 1本

(LSP-LP2、LSP-LPTに付属します)

10BASE2ケーブル接続用 T型コネクタ 1個

(LSP-L2、LSP-LP2に付属します)

ユーザー登録はがき、保証書 1枚

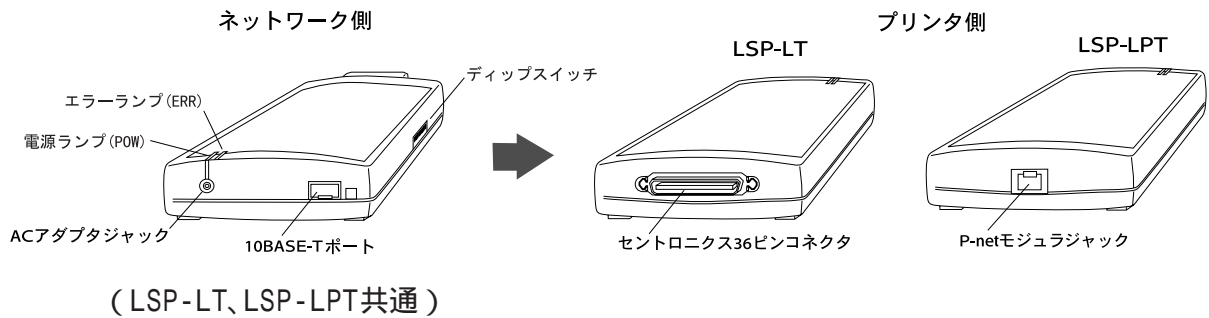
ユーザー登録はがきは、保証書を切り離した後、必要事項をご記入のうえ、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。

別刷で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

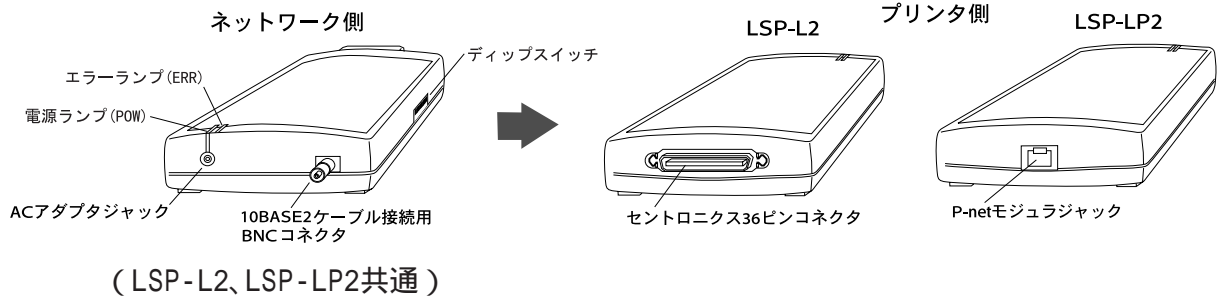
1-4 各部の名称

LSPにはネットワーク側およびプリンタまたはパソコン側のインターフェースにより4種類の製品があります。以下に各部の名称を示します。

LSP-LT、LSP-LPT



LSP-L2、LSP-LP2



インターフェースの記号(共通)

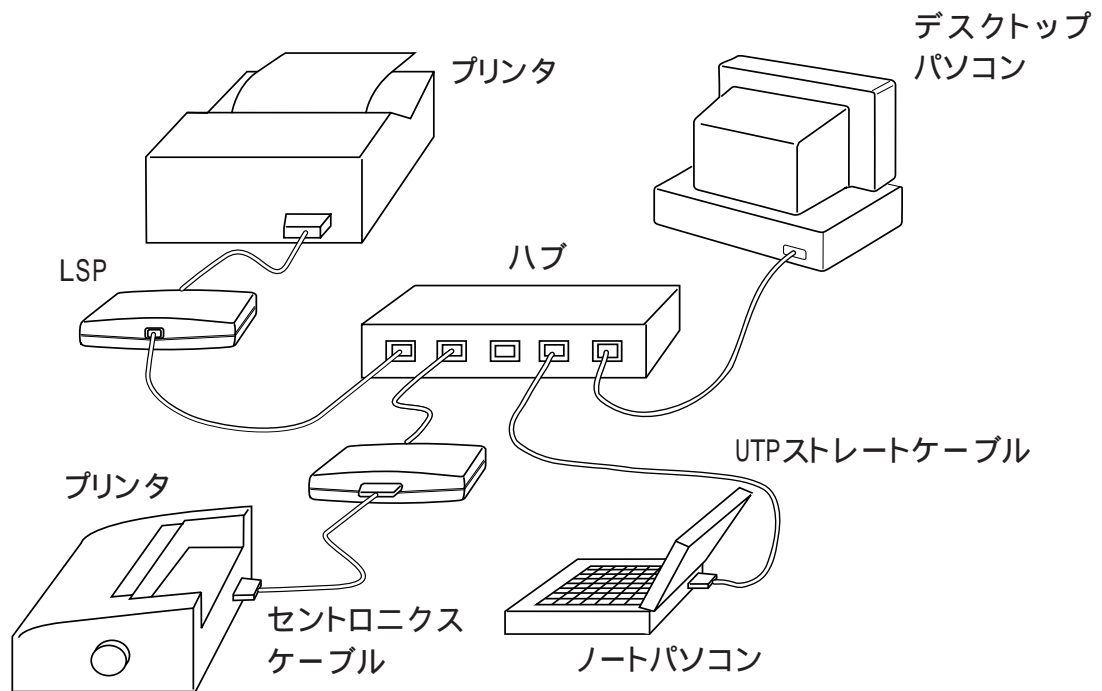
各部の記号	名称
	セントロニクス
	ACアダプタジャック
	10BASE2
	10BASE-T
	P-NET

1-5 LSPを利用したネットワーク

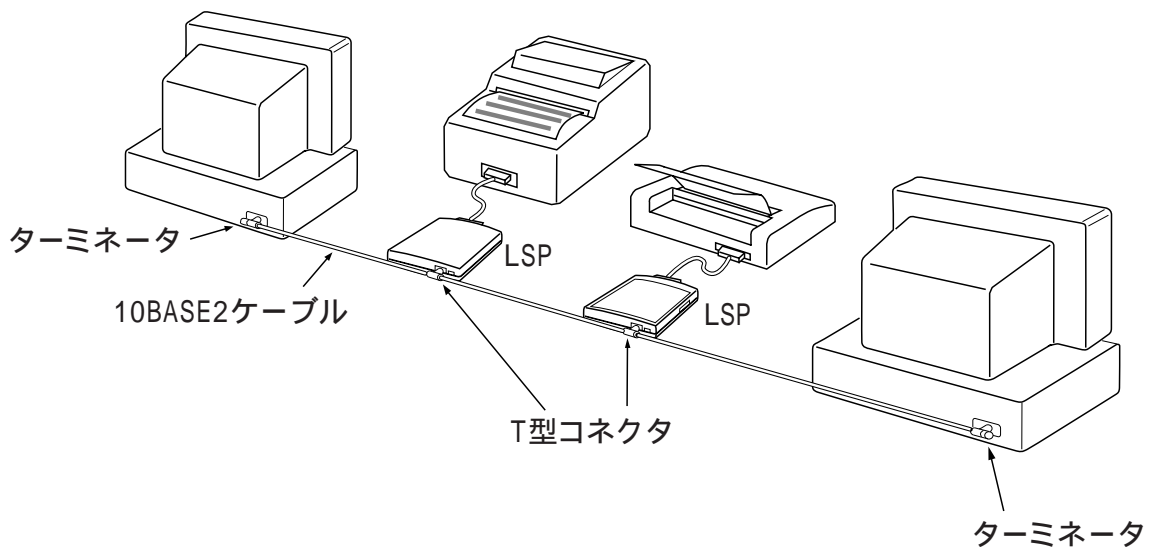
LSPを使用したイーサネットの構成例

LSPを用いて構成したネットワーク構成例を以下に示します。
基本はイーサネットのLANで構成します。

10BASE-Tを用いたネットワーク



10BASE2を用いたネットワーク

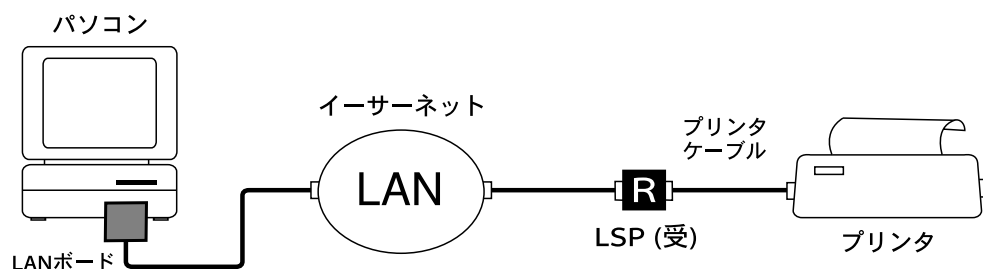


受信機・送信機モードによるネットワーク

受信機モード(LSPをプリンタに取り付ける場合)

この構成は従来ネットワーク端末として使用していたパソコンからLSP経由でプリンタへ出力するものです。パソコンには「LSPマネージャ」をインストールする必要があります。

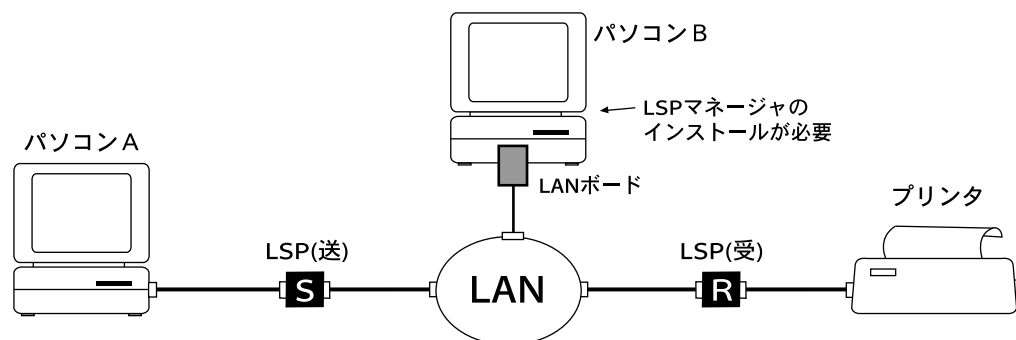
弊社製プリンタネットワーク「P-net」との接続も可能です。



送信機モード(LSPをパソコンに取り付ける場合)

この構成はLANボードの代わりにLSP(送信機モード)を使用してパソコンからプリンタへ出力を行うものです。

LANボードを持たないパソコンからプリンタケーブルまたはプリンタネットワークを経由してLAN側のプリンタに出力することができます。



使用状況に合わせ、LSPを送信機モードまたは受信機モードに設定する必要があります。

参照→ P. 14「2-4 送信機・受信機モードの設定」



LSP(送信機モード)とLSP(受信機モード)の接続設定は「LSPマネージャ」で行います。LAN接続されているパソコンBに「LSPマネージャ」をインストールして、LSPを設定してください。

参照→ P. 55「5-3 ネットワーク上のLSPを接続する」



この構成ではLANボードを搭載していないパソコンAには、「LSPマネージャ」をインストールする必要はありません(使用できません)。ただし、LANボードを搭載したパソコンBは送信機・受信機の接続を指定する必要があるため「LSPマネージャ」をインストールしてください。

MEMO

Chapter 2



第2章

ハードウェアのセットアップ

ここではLSPおよび周辺の機器との接続方法について解説します。

- 2-1 セットアップの概要
- 2-2 ネットワークとの接続
- 2-3 プリントまたはパソコンへの接続
- 2-4 送信機・受信機モードの設定
- 2-5 電源の接続

2-1 セットアップの概要

次の手順で、LSPのハードウェア設定を行います。

STEP 1

ネットワークとの
接続

UTPケーブルまたは10BASE2ケーブルを使用して、ネットワークにLSPを接続します。

STEP 2

プリンタまたは
パソコンへの接続

プリンタケーブルまたはプリンタネットワーク用モジュラケーブルを使用して、プリンタまたはパソコンにLSPを接続します。

STEP 3

送信機・受信機
モードの設定

LSPをプリンタに接続したときは受信機モードに、パソコンに接続したときは送信機モードに、LSPのディップスイッチで設定します。

STEP 4

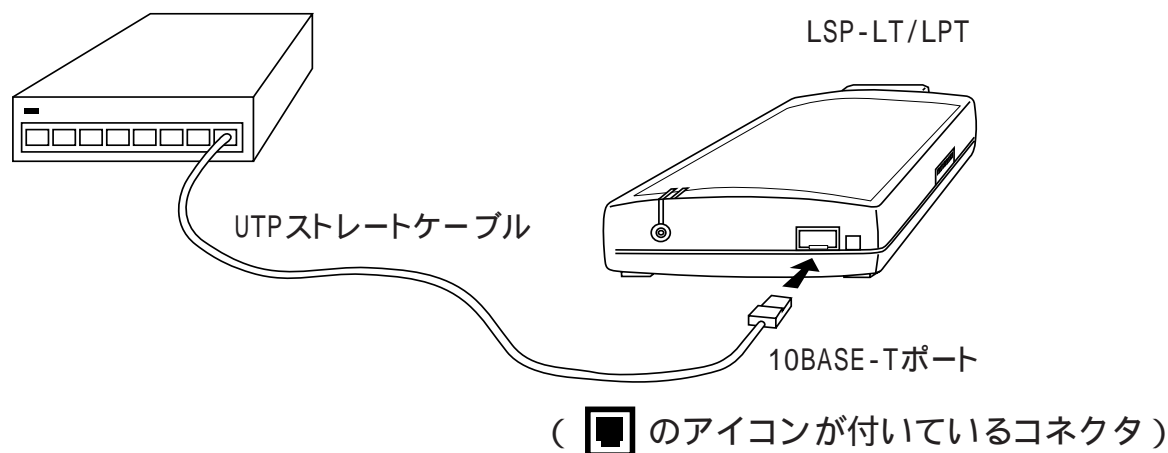
電源の接続

付属のACアダプタを使用してLSPに電源を供給します。

2-2 ネットワークとの接続

■ UTPケーブルの接続

ハブのポートとLSP-LT/LPTの10BASE-Tポートの間をUTPストレートケーブル (ETPケーブル)で接続します。

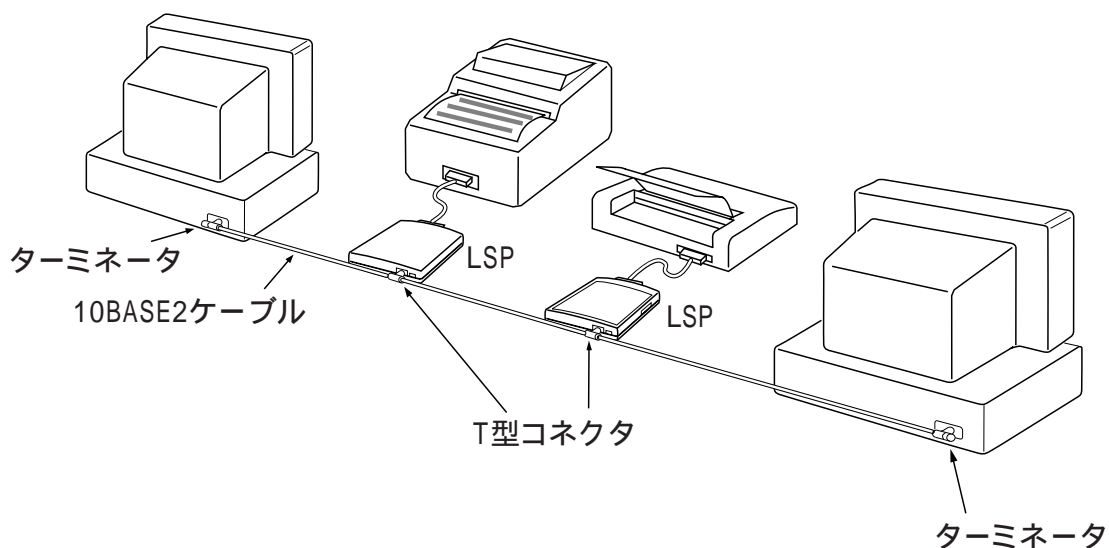


■ 10BASE2ケーブルとの接続

付属のT型コネクタをLSPの10BASE2のコネクタ(⊕ のアイコンが付いているコネクタ)に取り付けます。

T型コネクタの両端に10BASE2ケーブルのコネクタを取り付けます。

T型コネクタの片側のみに10BASE2ケーブルを取り付けた場合は、必ずコネクタのもう一方にターミネータを取り付けてください。




LSPを接続するときは、ネットワークに接続されているパソコンやプリンタの電源を必ずOFFにしてください。

2-3 プリンタまたはパソコンへの接続

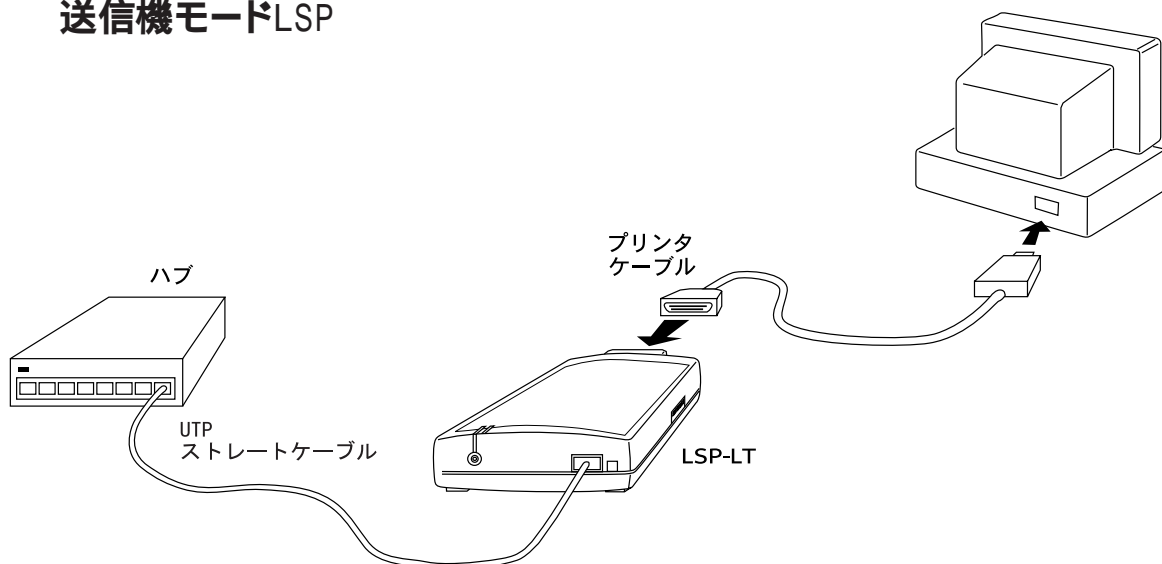
LSPとプリンタまたはパソコンへ接続するには2つの方法があります。プリンタケーブルを使う場合とプリンタネットワーク用モジュラケーブルを使う場合です。

プリンタケーブルの接続

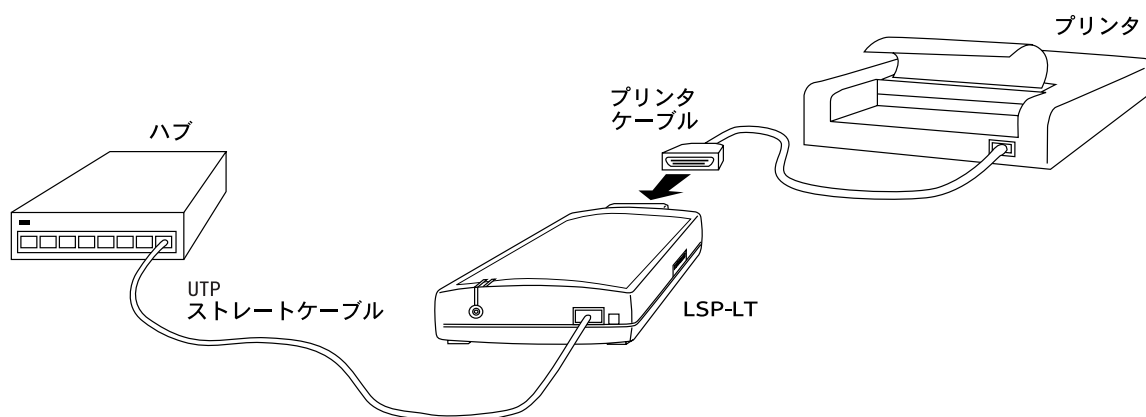
プリンタケーブルのセントロニクス36ピンコネクタをLSPに接続します（のアイコンが付いているコネクタ）

送信機モードのLSPに接続するプリンタケーブルはパソコンの機種により異なりますので注意してください。

送信機モードLSP



受信機モードLSP

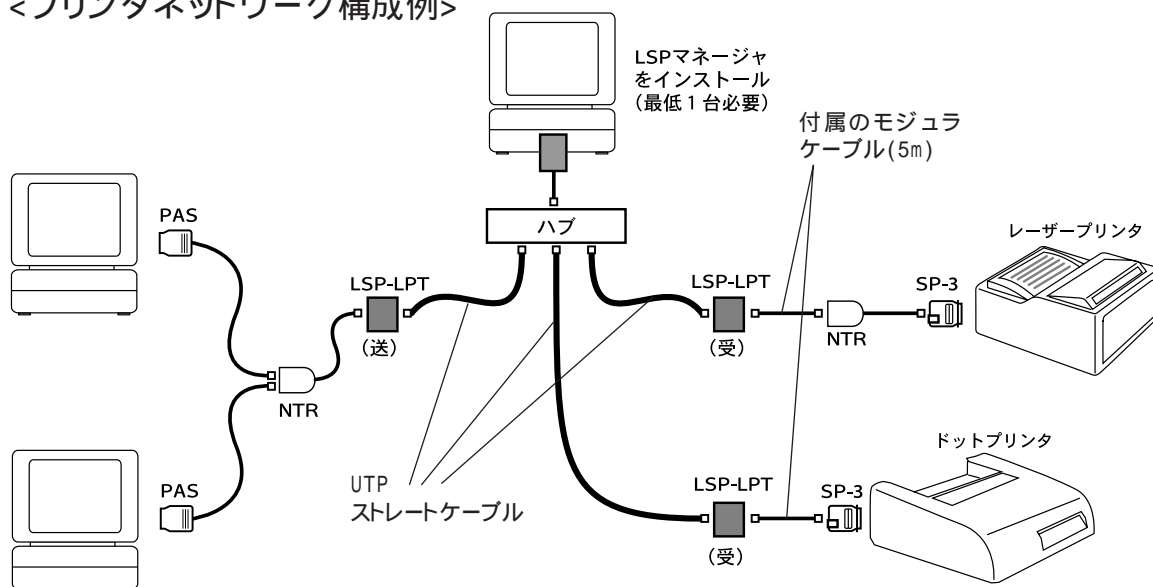


プリンタネットワークへの接続

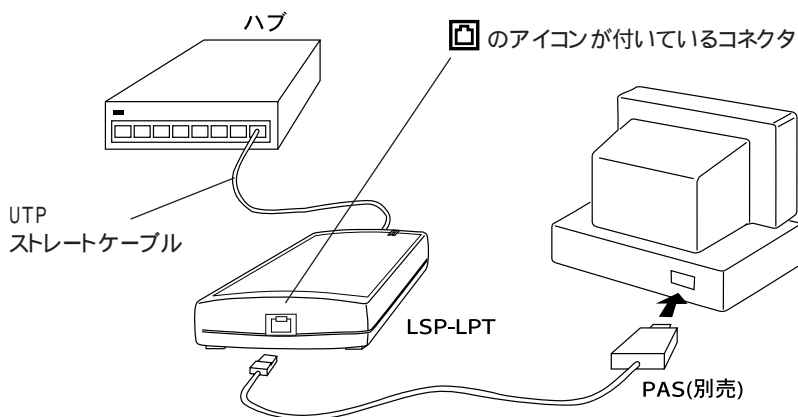
弊社製プリンタネットワークへの接続は以下のように行います。プリンタネットワークを用いた場合、多くの接続パターンが考えられますが、基本的な構成としては以下ようになります。

LSPを送信機・受信機のどちらのモードで使用するか間違えないでください。

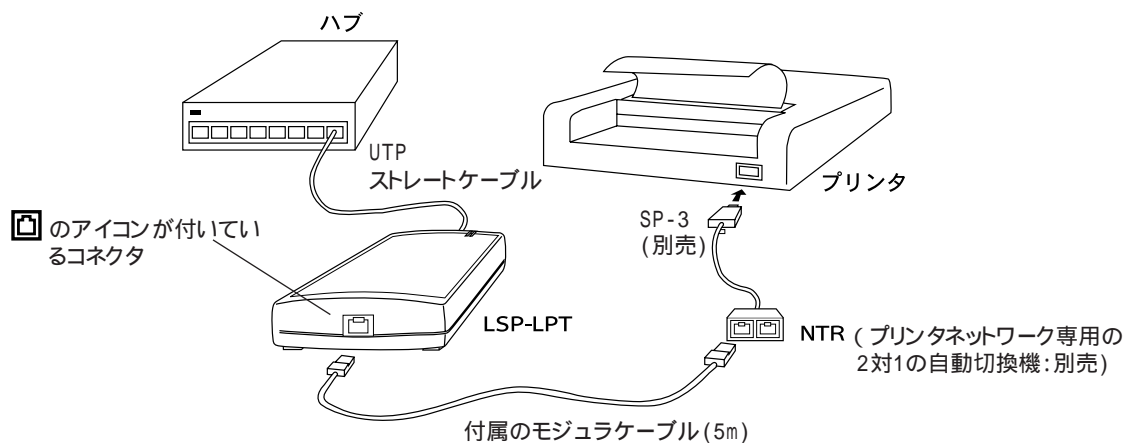
<プリンタネットワーク構成例>



送信機モードLSP



受信機モードLSP

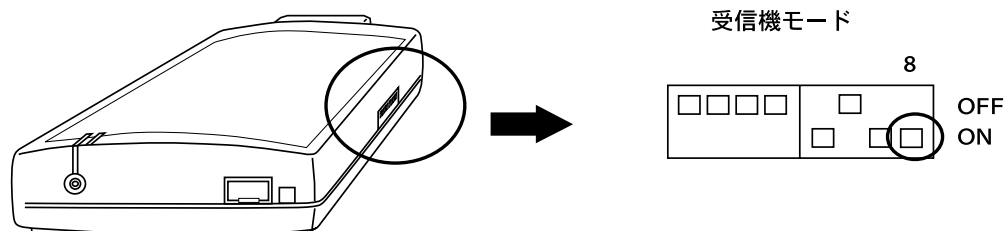


2-4 送信機・受信機モードの設定

LSPは2つのモードがあります。プリンタ側に接続するときは受信機モード、パソコン側に接続するときは送信機モードにディップスイッチを設定します。
出荷時設定は受信機モード(SW8=「ON」)です。

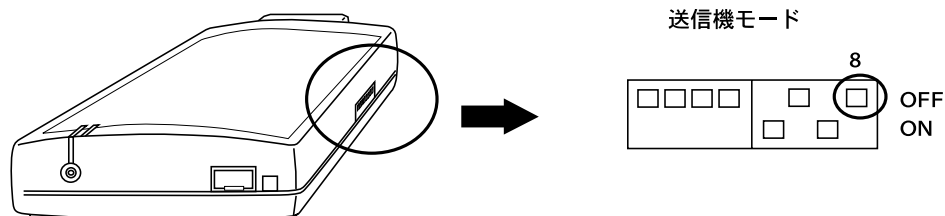
受信機モードの設定

ディップスイッチ8を「ON」にします。



送信機モードの設定

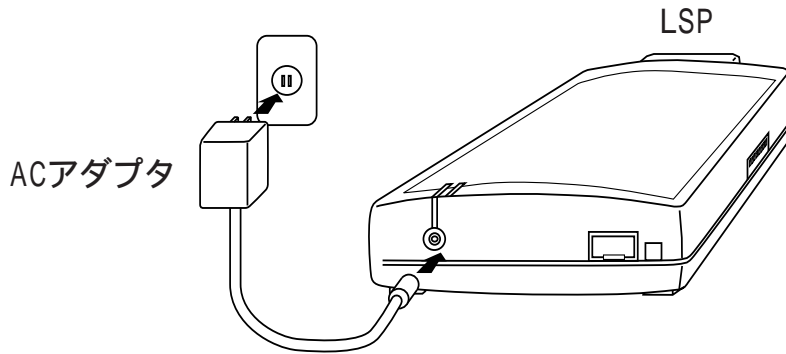
ディップスイッチ8を「OFF」にします。



他のディップスイッチの設定は変更しないでください。

2-5 電源の接続

付属のACアダプタをLSPのACアダプタ接続コネクタに接続します。
電源ランプが緑色に点灯します。



ACアダプタは必ず付属のものをお使いください。添付品以外のACアダプタを使用すると、故障の原因となります。



LSPの電源は、ネットワークに接続している機器で、一番最後に入れてください。

MEMO

Chapter 3

第3章

LSPマネージャについて

LSPマネージャの概要について解説します。

- 3-1 LSPマネージャとは
- 3-2 LSPマネージャの機能
- 3-3 LSPマネージャのインストールと
設定について

3-1 LSP マネージャとは

LSP マネージャはネットワークに接続された複数のLSPの接続、解除、リネームなどを行うプリントサーバ用ユーティリティです。

LSP マネージャはLANボードが搭載されているネットワーク内のパソコンにインストールします。LSP マネージャを使用しないと、LSPに接続したプリンタへ出力することはできません。

参照→ P.7 「受信機・送信機モードによるネットワーク」



LSP マネージャをプリンタケーブルやプリンタネットワークで接続されたパソコンにはインストールしないでください。

対応OS

- Windows95
- WindowsNT4.0/3.51
- Windows3.1
- MS-DOS Ver6.X以降
- PC DOS Ver6.3以降

3-2 LSP マネージャの機能

送受信LSPの接続状況の管理

ネットワーク上に接続されているLSPの台数を検索表示します。さらに接続されているLSPの送受信機モードの設定状態を検出します。

出力先の指定

受信先のLSPの指定を行います。(WindowsNT4.0/3.51は除く)

LSPの接続・解除

送信LSPと受信LSPを1対1で接続、解除を行います。

LSPの名称変更

LSPのデフォルトの名前は「PSXXXXXX」と表示されます。「XXXXXX」は各LSP本体裏面ラベルに貼り付けられた番号(MACアドレスの下6桁)です。「XXXXXX」の数字ではLSPの区別がつきにくいので、各LSPに固有の名前を付けることができます。たとえばプリンタを接続する受信LSPにはプリンタの名前(LBPやMJなど)や送信側LSPにはパソコンの名前(9801RA、9821Xtなど)というように管理しやすい名前を割り当てることができます。

3-3 LSPマネージャのインストールと設定について

LSPを使用して印刷するには、次の手順で、LSPマネージャをインストール・設定してください。

1. LSPマネージャのインストール

LSPマネージャは、使用しているOSにより、インストール方法が異なります。インストールするパソコンのOSに合わせて、「第4章 LSPマネージャのインストール」をお読みください。(DOSをご使用の場合は、「第6章 DOS版マネージャについて」をお読みください)

2. LSPマネージャの設定


LSPマネージャで出力先の設定、または、LSPどうしの接続を設定します。「第5章 LSPマネージャの設定」をお読みください。
(DOSをご使用の場合は、「第6章 DOS版LSPマネージャについて」をお読みください)

3. プリンタの選択


印刷先のプリンタを選択します。「第7章 プリントアウトのしかた」をお読みください。

NEC製PC98-NXシリーズのWindows95インストールモデルを使用しているときは、次の設定を行ってください。

「CyberTrio-NX」がインストールされている機種では、「CyberTrio-NX」をアドバンスモード以外のモードで使用していると、本製品のドライバが正常にインストールできないことがあります。ドライバをインストールする前に、アドバンスモードに変更してください。

「CyberTrio-NX」がインストールされているパソコンでは、タスクバーに「CyberTrio-NX」のインジケータが表示されます。

・ [CyberTrio-NX]のモードの確認方法

タスクバーに表示されている[CyberTrio-NX]のインジケータの色で確認できます。

赤	アドバンスモード	設定を変更する必要はありません。
黄	ベーシックモード	アドバンスモードに設定を変更してください。
緑	キッズモード/カスタムモード	アドバンスモードに設定を変更してください。

・「CyberTrio-NX」のモードの変更方法

再起動後もアドバンスモードになるように設定を変更します。

[スタート]-[プログラム(P)]-[CyberTrio-NX]-[Go To アドバンスモード]の順に選択します。

アドバンスモードに切り替わります。

[スタート]-[プログラム(P)]-[CyberTrio-NX]-[CyberTrio-NX セットアップ]の順に選択します。

[CyberTrio-NXのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

[アドバンスモード]を選択して[OK]ボタンをクリックします。

詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。

以上でアドバンスモードに設定されました。

本製品のドライバをインストールした後やWindows95の設定が終了した後は、アドバンスモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

CyberTrio-NX

パソコンを使う人ごとに、Windows95の動作範囲やアクセスできるフォルダを限定するための機能です。詳しくはパソコン本体のマニュアルを参照してください。

Chapter 4

第4章

LSPマネージャのインストール

LSPマネージャのインストールについて、OS別に解説します。

- 4-1 Windows95へのインストール
- 4-2 Windows3.1へのインストール
- 4-3 WindowsNT4.0へのインストール
- 4-4 WindowsNT3.51へのインストール

4-1 Windows95へのインストール

ネットワークへ接続された(LANボード搭載)パソコンにWindows95用のLSPマネージャ(LSP95マネージャ)のインストールを行います。



プリンタケーブルや、プリンタネットワークで送信機のLSPに接続しているパソコンにはLSP95マネージャをインストールしないでください。

Windows95にLSP95マネージャをインストールするには、次の条件が必要です。

- パソコンにWindows95がインストールされていること。
- 他社製LANボードを使用しているときは、「エンハンスモード(32ビットまたは16ビット)NDIS」ドライバで動作していること。



[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

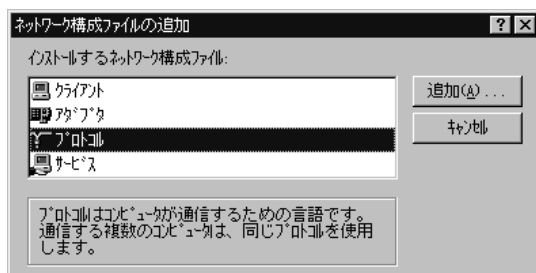
コントロールパネル内の[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。



「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されるので、[追加] ボタンをクリックします。



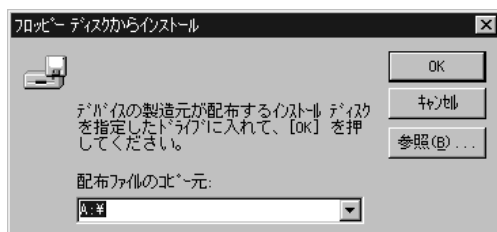
- ▼ **3** 「ネットワーク構成ファイルの追加」画面で、「プロトコル」を選択して「追加」ボタンをクリックします。



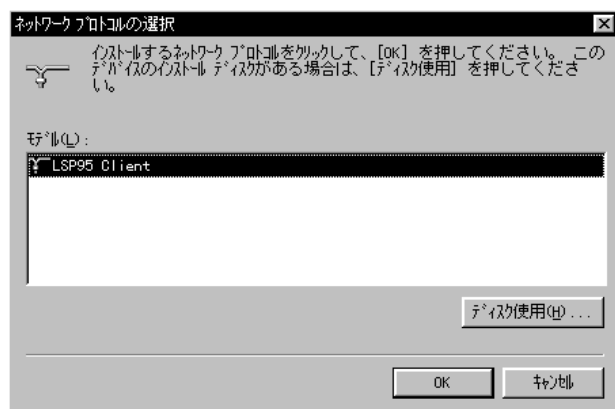
- ▼ **4** Windows95用ローカルプリントサーバユーティリティディスクをAドライブ(Aドライブがフロッピーディスクドライブの場合)に入れて、「ネットワークプロトコルの選択」画面で「ディスク使用」ボタンをクリックします。



- ▼ **5** 「フロッピーディスクからのインストール」画面で「配布ファイルのルート」にローカルプリントサーバユーティリティの入ったドライブを入力して「OK」ボタンをクリックします。



- ▼6 「ネットワークプロトコルの選択」画面で「LSP95 Client」を選択して「OK」ボタンをクリックします。



- ▼7 「ネットワーク」画面で「OK」ボタンをクリックします。



- ! インストール途中に、CD-ROMまたはフロッピーディスクを要求された場合は、Windows95のCD-ROMまたは指定されたフロッピーディスクをセットし「OK」ボタンをクリックしてください。CD-ROMの場合は「¥WIN95」を指定してください。
Windows95プリインストールモデルのパソコンを使用している場合は、「¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を指定してください。

- ▼8 Windows95の指示に従いインストールが完了したら、Windows95を再起動します。以上でインストールは終了です。

- ! LSPを使用して出力するプリンタはポート設定を「LSP:(LSP-Manager)」にする必要があります。環境に合わせてプリンタポートの変更を行ってください。

参照→ P.75 「第7章 プリントアウトのしかた」

LSP95マネージャのアンインストールについて

LSP95マネージャのアンインストールは、次の手順で行ってください。

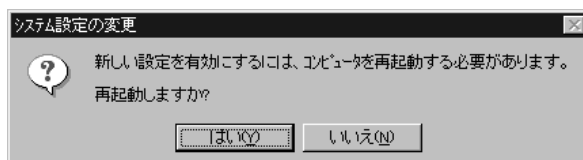
- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択して、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。



- 2 「ネットワークの設定」で[LSP95 Client]を選択して[削除]をクリックして、[OK]をクリックします。



- 3 「システム設定の変更」画面で[はい]をクリックします。Windows95が再起動します。以上でアンインストールは終了です。

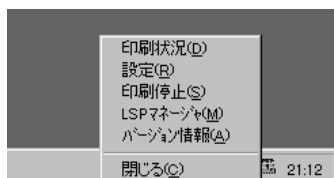


LSP95 マネージャの起動

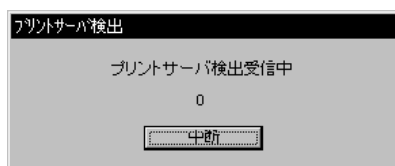
通常はWindows95起動時にLSP95 マネージャが起動されます。

Windows95起動時以外で、LSP95 マネージャを起動したいときは、タスクバーの[LSP]アイコンから起動することができます。

タスクバーのトレイにある[LSP]のアイコンをクリックしてメニューを表示します。メニューから[LSPマネージャ]を選択します。



“プリントサーバー検出受信中”というメッセージが表示され、ネットワーク上に接続されているLSPを検出します。



LSP マネージャの起動が完了するとメインメニューが表示されます。



ここに表示されている番号は、各LSP固有の番号(MAC アドレスの下6桁)です。この番号は各LSP本体裏面に貼り付けられたラベルに記載してあります。
(リネーム機能を使って変更することができます)



LSPが検出できないときは、P. 83「Q&A情報」を参照してください。



LSP マネージャの設定については、第5章「LSP マネージャの設定」を参照してください。

4-2 Windows3.1へのインストール

ネットワークへ接続された(LANボード搭載)パソコンにLSPマネージャのインストールを行います。



プリンタケーブルや、プリンタネットワークで送信機のLSPに接続しているパソコンにはLSPマネージャをインストールしないでください。



弊社製LANボードLCI-TXS/TXJをお使いの方で、ODIドライバをインストールしていない方は、LSPマネージャをインストールする前に下記の準備を行ってください。

LCI-TXS/TXJに添付されているLANボードユーティリティディスクのバックアップディスクを作成します。

作成したバックアップディスクのルートディレクトリにあるNET.CFGを、エディタなどを用いて次のように修正します。

・DOS/V機するとき

```
LINK DRIVER LCIATX
```

```
;Optional Frame type Keywords:
```

```
;
```

```
Frame Ethernet_802.2 (先頭の「;」を消す)
```

```
;Frame Ethernet_802.3
```

```
;Frame Ethernet_II
```

```
;Frame Ethernet_snap
```

・NEC PC-9821シリーズするとき

```
LINK DRIVER LCI98X
```

```
;Optional Frame type Keywords:
```

```
;
```

```
Frame Ethernet_802.2 (先頭の「;」を消す)
```

```
;Frame Ethernet_802.3
```

```
;Frame Ethernet_II
```

```
;Frame Ethernet_snap
```

後述する手順に従ってLSPマネージャをインストールします。ただし、LANボードの選択では弊社製以外を選び、ODIドライバをインストールするときは で作成したバックアップディスクを使用してください。

▼1 パソコンの電源スイッチをONにして、Windows3.1を起動します。



弊社製LANボードLGY-98/AT、LGH、LPC-Tをお使いの方は、あらかじめLANボードの割り込みレベルとI/Oポートアドレスを確認してください。LANボードの設定は、「LANボード診断プログラム」で確認できます。（「LANボード診断プログラム」については各LANボードのマニュアルをご覧ください）

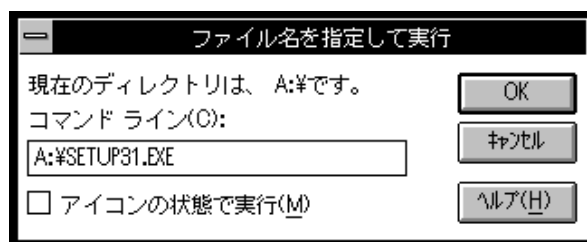


弊社製LANボードLCI-100VG、LPC-TX-CBではご使用になれません。

▼2

パソコンのフロッピーディスクドライブにWindows3.1用のローカルプリントサーバユーティリティディスクを挿入します。（ここではドライブAとして説明します。）

Windows3.1のファイルマネージャの「名前を指定して実行(R)」メニューを選択します。実行ファイル名を「A:¥SETUP31.EXE」と入力し「OK」ボタンをクリックします。



▼3

弊社製LANボード「LGY-98、LGY-AT、LGH、LCI-T2、LPC-T、LGY-VI」を使用している場合は「はい」ボタンをクリックします。その他のLANボード（上記以外の弊社製LANボードや他社製LANボード）を使用している場合は「いいえ」ボタンをクリックします。弊社製LANボードLCI-TXS/TXJ、100TX、LPC-TXをお使いの方は「いいえ」ボタンをクリックしてください。



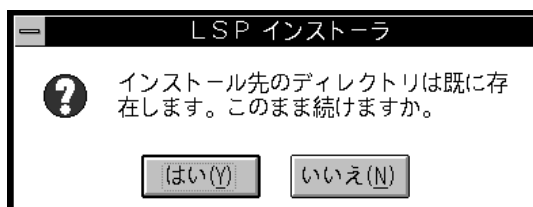
他社製LANボードをお使いの場合、次の条件が必要です。

- Windows3.1で使用可能なLANボードとODIドライバがあること。
- NET.CFGファイルとそれに対応したドライバが同一ディレクトリにあること。

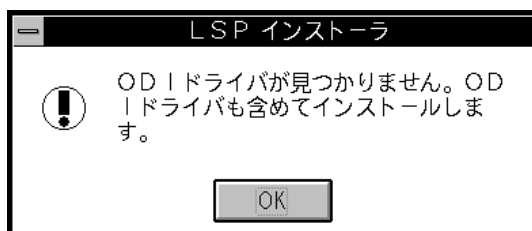
- ▼4 インストール先のドライブとディレクトリを設定します。
デフォルトではWindows3.1がインストールされているドライブの¥LSP
になっています。
このままでよければ [OK] ボタンをクリックします。他のディレクトリに
インストールする場合は新しいドライブ名と、ディレクトリ名を設定します。



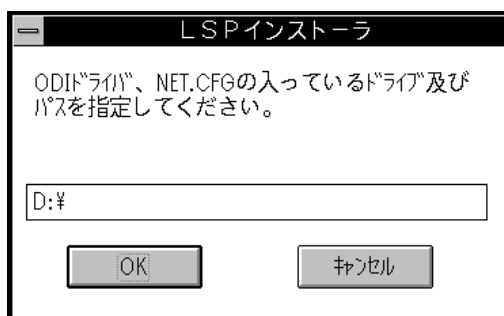
- ! インストール先のディレクトリが既に存在する場合は、以下のようなメッセージが表示
されます。



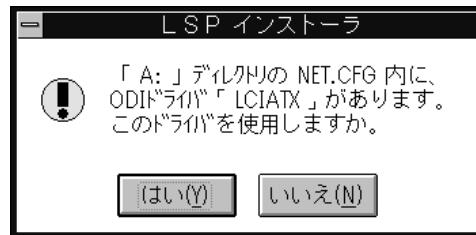
- ▼5 弊社製ODIドライバがインストールされていない場合は以下のようなメッ
セージが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。
ODIドライバがインストールされている場合は、この表示はされません。



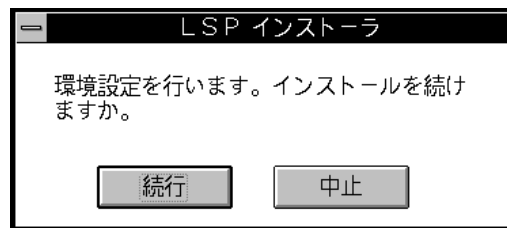
手順3で [いいえ] をクリックしたときは、以下のメッセージが表示されま
す。ODIドライバ、NET.CFGの入っているドライブおよびディレクトリを入力
してください。



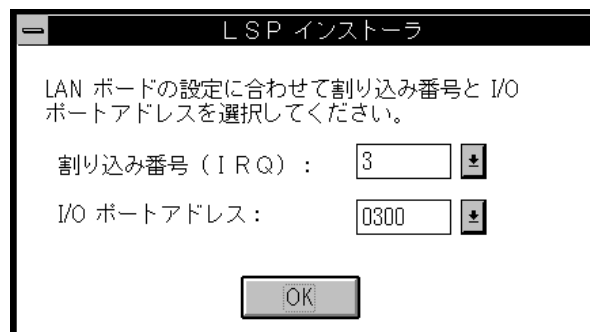
ODIドライバが見つかったと、以下のメッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックします。



▼ **6** 環境設定を行います。[続行] ボタンをクリックします。



▼ **7** 使用しているLANボードがLGY-98/AT、LGH、LPC-Tの場合、IRQ (割り込みレベル) とI/Oポートアドレスを設定します。LGY-ATの出荷時設定はIRQ = 3、I/Oアドレス = 0300になっています。(NET.CFGが検出された場合は表示のみで変更不可)



! IRQ (割り込みレベル) とポート番号 (I/Oアドレス) には、LANボードの設定を入力してください。LGY-VI、LCI-T2の場合はこの表示はされません。

▼ **8** CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの更新ダイアログボックスが表示されますので [はい(Y)] をクリックします。





これまで使っていたCONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATはそれぞれ以下のように書き換えられます。

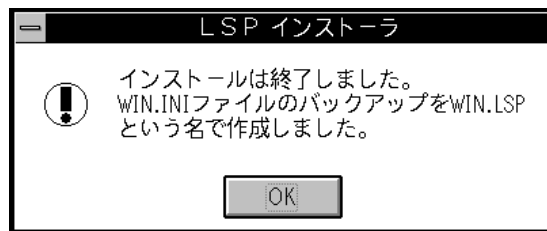
CONFIG.SYS
AUTOEXEC.BAT

CONFIG.LSP
AUTOEXEC.LSP

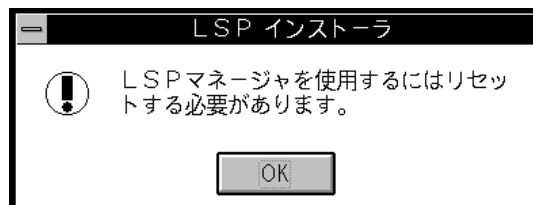
[はい(Y)] をクリックしたときは、CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの変更確認のメッセージが表示されますので[OK] をクリックします。



9 WIN.INIの変更確認のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



以下のメッセージが表示されますので[OK] をクリックします。



10 「OK」をクリックしてインストールを終了します。



11 インストールが完了したらWindowsを終了して、パソコンをリセットまたは再起動します。



リセット方法は機種によって異なります。

DOS/V機

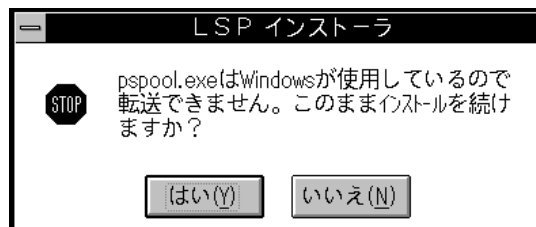
NEC PC-9821/9801シリーズ

Ctrl + **Alt** + **Delete** を押します。

リセットボタンを押します。

■ トラブルシューティング

インストール中に以下のメッセージが表示された場合



プリンタスプーラが動作中であることを示しています。このメッセージが表示されたら[いいえ]をクリックします。インストーラが終了しますので、プリンタスプーラを終了して、もう一度インストールしてください。[はい]をクリックしてインストールを継続した場合は、Pspool.exeは更新されません。

プリンタスプーラの終了方法

プリンタスプーラのアイコンを一度クリックして「閉じる」を選択してください。

パソコンの起動時に次のエラーメッセージが表示された場合

パソコンの起動時に次のようなメッセージが表示されることがあります。

```
OUT_OF_RESOURCES
-----Register Stack-----
-----Register Stack-----
```

このような場合は、NET.CFGファイルに次の行を追加してください。

```
LinkSupport
    Buffer...
```

MAX Stacks 5 この行を追加

NET.CFGは起動したLSL.COMと同じディレクトリにあるファイルが使用されます。そのディレクトリにない場合は、環境パスに従って検索を行い、読み込まれます。

LSL.COMの起動時にNET.CFGのディレクトリが表示されます。

「Max Stacks 5」を追加しても起動できない場合は、「5」を「10」に変更してください。

Windows3.1版 LSPマネージャのインストーラの実行結果

インストールによってパソコンの環境が次のように変更されます。

AUTOEXEC.BATの変更

環境変数PATHにインストールディレクトリを追加

- AUTOEXEC.BATにNETWORK.EXE、STARTNET.BATの記述がない場合
(LSPマネージャをインストールしたディレクトリをC:¥LSPとした場合)

```
<LSLDIR>¥LSL.COM  
<LSLDIR>¥****.COM      (****はLANボードによって異なります)  
<LSLDIR>¥IPXODI.COM  
C:¥LSP¥LSPODI.COM <WINDOWS>
```

- AUTOEXEC.BATにNETWORK.EXEの記述がある場合
(LSPマネージャをインストールしたディレクトリをC:¥LSP、NETWORK.EXEをインストールしたディレクトリをC:¥NETWORK¥APPSとした場合)

```
<LSLDIR>¥LSL.COM  
<LSLDIR>¥****.COM      (****はLANボードによって異なります)  
<LSLDIR>¥IPXODI.COM  
C:¥NETWORK¥APPS¥NETWORK.EXE  
C:¥LSP¥LSPODI.COM <WINDOWS>
```

- AUTOEXEC.BATにSTARTNET.BATの記述がある場合
(LSPマネージャをインストールしたディレクトリをC:¥LSPとした場合)

```
@CALL C:¥NWCLIENT¥STARTNET.BAT  
C:¥LSP¥LSPODI.COM <WINDOWS>
```

<LSLDIR> : LSL.COMが存在するディレクトリ
<WINDOWS> : Windows3.1インストール先ディレクトリ

CONFIG.SYSの変更

CONFIG.SYSに次の行が追加されます。

(LSPマネージャをインストールしたディレクトリをC:¥LSPとした場合)

DEVICE=C:¥LSP¥LSPPRN.SYS V (DOS/V機の場合)

DEVICE=C:¥LSP¥LSPPRN.SYS P (NEC PC-9821/9801シリーズの場合)

NET.CFGの変更

NET.CFGに次の行が追加されます。

```
Link driver **** (****はODIドライバ名)
    INT * ( *はLANボードの割り込み番号(IRQ)
    PORT * ( *はLANボードのI/Oポートアドレス)
    Frame Ethernet_II (Frame Ethernet_802.2/802.3の記
                        述がある場合はその後に記述されます。)
    PROTOCOL MEL 5053 ETHERNET_II
                        (TCP/IPを使用する場合に必要)
```

「INT *」と「PORT *」の行はPCIバス等のプラグアンドプレイ対応のLANボードでは必要ありません。

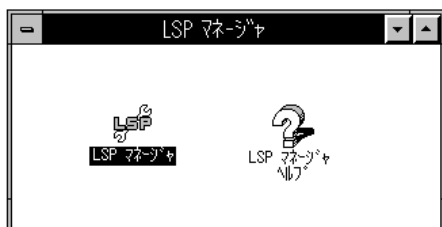
NET.CFGは起動したLSL.COMが存在するディレクトリのものが読み込まれます。もし存在しない場合は、環境パスに従って検索を行い読み込まれます。LSL.COMの起動時に読み込まれたNET.CFGのディレクトリが表示されます。正しく起動しない場合は、読み込まれたNET.CFGを変更してください。

WIN.INIの変更

- LSPマネージャをインストール後、[boot]セクションのrunエントリを次のように指定します。
run=C:¥LSP¥LSPINST.EXE C:¥LSP¥PSPPOOL.EXE C:¥LSP¥LSPMNG.EXE
- Windows3.1再起動後、このエントリは次のように変更されます。
run=PSPPOOL.EXE
- [Windows]セクションのDEVICEエントリの出力先を「FILE:」に置き換えます。
- [PrinterPorts]セクションのすべてのエントリの出力先を「FILE:」に置き換えます。
- [Device]セクションのすべてのエントリの出力先を「FILE:」に置き換えます。

LSPマネージャの起動

LSPグループアイコンの中の「LSPマネージャ」アイコンをクリックしてLSPマネージャを起動します。(通常はWindows3.1起動時にLSPマネージャは起動されます)



“ プリントサーバー検出受信中 ”というメッセージが表示され、ネットワーク上に接続されているLSPを検出します。

LSPマネージャの起動が完了するとメインメニューが表示されます。

LSPマネージャの設定については、第5章「LSPマネージャの設定」を参照してください。



LSPが検出できないときは、P.83「Q&A情報」を参照してください。

4-3 WindowsNT4.0へのインストール

ネットワークへ接続された(LANボード搭載)パソコンにLSPマネージャのインストールを行います。



プリンタケーブルやプリンタネットワークで送信機のLSPに接続しているパソコンにはLSPマネージャをインストールしないでください。

WindowsNT4.0にLSPマネージャをインストールするには、次の条件が必要です。

- パソコンにWindowsNT4.0がインストールされていること。
- LANボードがWindowsNT4.0用ドライバで動作していること。
- Administratorの権限を有するユーザでログオンしていること。

ドライバのインストール

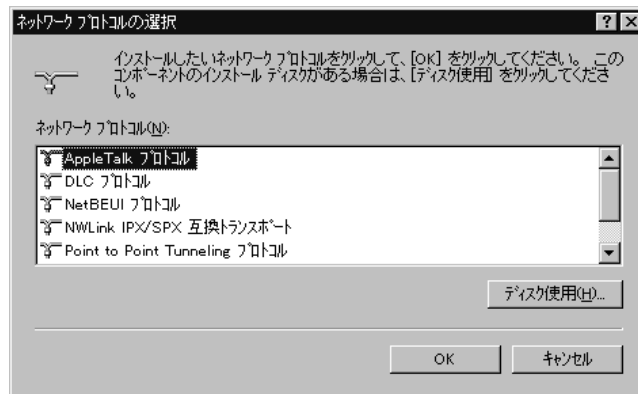
まず初めにLSPのドライバをインストールします。



[スタート]メニューの[設定] - [コントロールパネル] - [ネットワーク]を選択し、「ネットワーク」ダイアログボックスで[プロトコル]タブをクリックします。



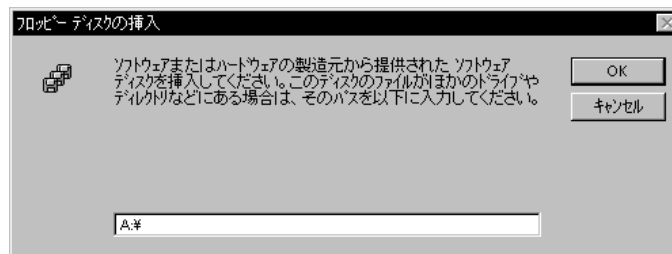
- ▼ **2** [追加(A)]ボタンをクリックします。
「ネットワークプロトコルの選択」ダイアログボックスが表示されます。



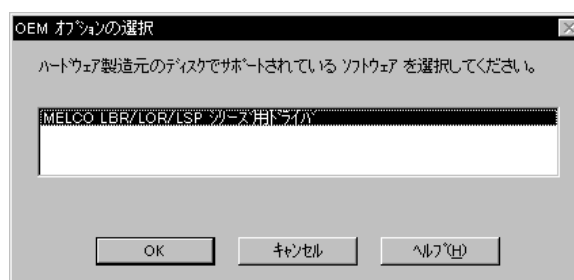
- ▼ **3** [ディスク使用(H)]ボタンをクリックします。
「フロッピーディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されます。

- ▼ **4** フロッピードライブにWindowsNT用のローカルプリントサーバユーティリティディスクを挿入し、ドライバのあるディレクトリを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

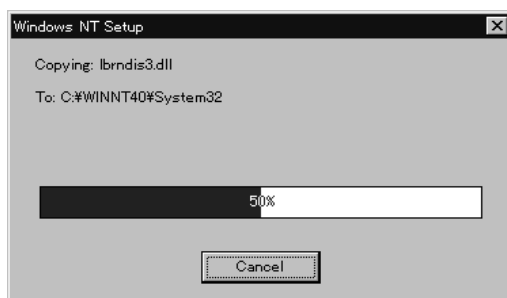
DOS/V機、PC98-NXシリーズの場合： A:¥
 PC-9821/9801シリーズの場合 : B:¥
 (フロッピーディスクドライブがBドライブのとき)



- ▼ **5** 「MELCO LBR/LOR/LSPシリーズ用ドライバ」が表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



ドライバのインストールが始まります。



WindowsNTのCD-ROMを要求するメッセージが表示されることがあります。その場合は、CD-ROMをセットし、CD-ROMドライブの「¥I386 (DOS/V機、PC98-NXシリーズの場合) または「¥PC98 (PC-9821/9801シリーズの場合) を指定してください。



ドライバのインストールが終わると、コンピュータの再起動を要求されるので再起動します。



再起動後、[スタート]メニューの[設定] - [コントロールパネル] - [ネットワーク] を選択します。



「ネットワーク」ダイアログボックスで[サービス]タブをクリックし、一覧に「MELCO LBR/LOR/LSPシリーズ用ドライバ」が追加されていることを確認します。



以上でドライバのインストールは終了です。
続いてLSPマネージャのインストールを行います。

LSPマネージャのインストール

- ▼1 [スタート]メニューの[ファイル名を指定して実行]を選択します。
フロッピードライブにWindowsNT用のローカルプリントサーバユーティリティディスクを挿入し、次のように入力し、[OK]ボタンをクリックします。

DOS/V機、PC98-NXシリーズの場合:

PC-9821/9801シリーズの場合 :

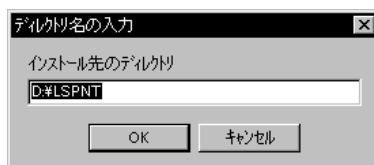
(フロッピーディスクドライブがBドライブのとき)



- ▼2 インストールの確認をするダイアログボックスが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



- ▼3 インストール先のドライブとディレクトリを設定します。
デフォルトではWindowsNTがインストールされているドライブの「¥LSPNT」になっています。
他のディレクトリにインストールする場合は、新しいドライブ名とディレクトリ名を入力します。
インストール先のドライブとディレクトリが指定できたら、[OK]ボタンをクリックします。



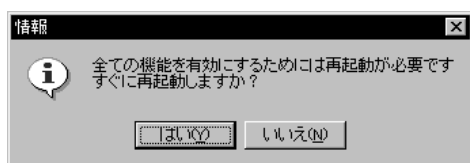
- ▼4 インストールが始まります。



- ▼5 インストールが終了すると、次のダイアログボックスが表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。



- ▼6 インストールした機能を有効にするためには、WindowsNTの再起動が必要です。[はい] ボタンをクリックします。



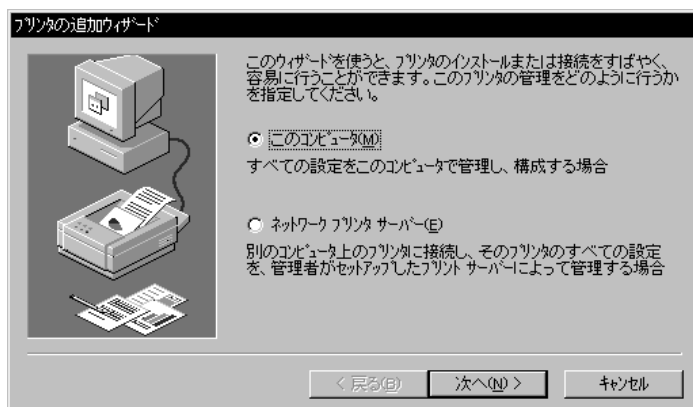
WindowsNTが再起動します。

LSPマネージャは「スタートアップ」に登録されるので、WindowsNT起動時にLSPマネージャは起動します。

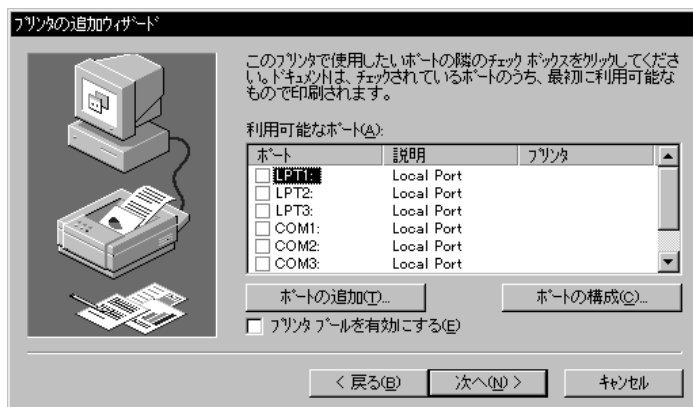
参照→ P.44 「LSPマネージャの起動」

プリンタポートの設定

- ▼1 [スタート] メニューの [設定] - [コントロールパネル] - [プリンタ] を選択し、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。
「プリンタの追加ウィザード」が起動します。
「このコンピュータ」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



2 [ポートの追加] ボタンをクリックします。

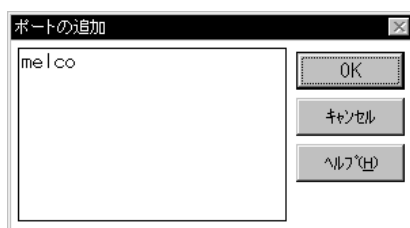


3 「LSP Monitor」を選択し、[新しいポート] ボタンをクリックします。



! 「LSP Monitor」が表示されない場合、複数のネットワークアダプタが、LSPのドライバにバインドしていることが原因です。次の手順でバインドを解除してください。
[スタート] - [設定] - [コントロール パネル] を選択します。
「バインド」タブをクリックします。
「MELCO LBR/LOR/LSPシリーズ用ドライバ」をダブルクリックし、不要なネットワークアダプタのバインドを解除してください。

4 ネットワーク上のLSPを検索し、発見したLSPの一覧が表示されるので、出力したいプリンタに接続されているLSPを選択し、[OK] ボタンをクリックします。



! LSPが発見できなかった場合は、[キャンセル] ボタンをクリックして手順3からやり直してください。それでもLSPが発見できなかった場合は、LSPの電源が入っているか、パソコンとLSPとのケーブル接続が正しいか確認してください。

▼5 [閉じる] をクリックします。

▼6 出力先ポートとして、「LSP-“LSP名(手順4で選択したLSP)”」が作成されます。(LSP名の出荷時設定は“PS”+MACアドレスの下6桁です)

参照→ P.18 「LSPの名称変更」



[次へ] ボタンをクリックします。

▼7 一覧からLSPに接続されているプリンタを選択して[次へ] ボタンをクリックします。

▼8 「テストページを印刷しますか?」と表示されるので、「はい」が選択されているのを確認して、[完了] ボタンをクリックしてください。
インストール終了後、テストページが印刷されるのを確認してください。



ネットワーク内にLSPに接続されている複数のプリンタがある場合は、それぞれのプリンタに対して、「プリンタポートの設定」の操作をしておく、アプリケーション側で、使用するプリンタを選択することができます。

LSPポートの削除

プリンタの設定時に作成したLSPポート(LSP-“LSP名”)をLSPマネージャのアンインストール以外の方法で削除したい場合は以下の手順で行ってください。

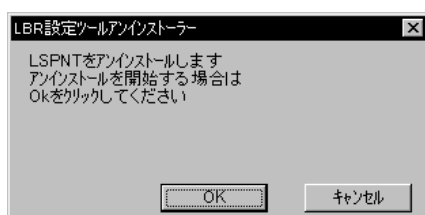
- ▼1 [コントロールパネル]-[プリンタ]を開きます。
- ▼2 [ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。
- ▼3 [プリントサーバーのプロパティ]が開くので、[ポート]タブをクリックします。
- ▼4 ポートの一覧が表示されるので、削除したいポートを選択して、[ポートの削除]をクリックすると、ポートが削除されます。

LSPマネージャのアンインストールについて

WindowsNTでLSPマネージャをアンインストールする場合は、以下の手順で行ってください。

 LSPマネージャをアンインストールするときは、AdministratorでWindowsNTにログインする必要があります。

- ▼1 [スタート]メニューの[プログラム]-[LSP32 for WindowsNT]-[アンインストール]を選択します。



[OK]ボタンをクリックします。アンインストールが開始します。表示される画面に従って操作してください。

- ▼2 [スタート]メニューの[設定]-[コントロールパネル]-[ネットワーク]を選択し、[ネットワーク]ダイアログボックスの[サービス]タブをクリックして開き、「MELCO LBR/LOR/LSPシリーズ 用ドライバ」を選択し、削除してください。

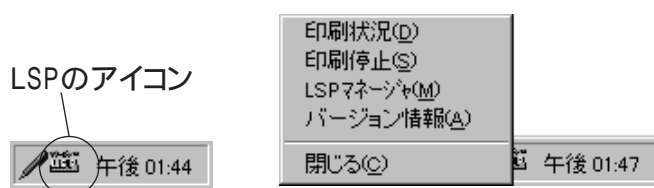
LSPマネージャの起動

LSPマネージャを起動したいときは、タスクバーの[LSP]アイコンから起動することができます。



LSPマネージャを起動するときは、AdministratorでWindowsNTにログオンする必要があります。

タスクバーのトレイにある[LSP]のアイコンをクリックしてメニューを表示します。メニューから[LSPマネージャ]を選択します。



LSPマネージャのメニューバーに「検出中」というメッセージが表示され、ネットワーク上に接続されているLSPを検出します。

LSPマネージャの起動が完了するとメインメニューが表示されます。



ここに出ている番号は各LSP固有の番号(MACアドレスの下6桁)です。この番号は各LSP本体裏面に貼り付けられたラベルに記載してあります。(リネーム機能を使って変更することができます)

LSPマネージャの設定については、第5章「LSPマネージャの設定」を参照してください。



LSPが検出できないときは、P. 83「Q&A情報」を参照してください。

4-4 WindowsNT3.51へのインストール

ネットワークへ接続された(LANボード搭載)パソコンにLSPマネージャのインストールを行います。



プリンタケーブルやプリンタネットワークで送信機のLSPに接続しているパソコンにはLSPマネージャをインストールしないでください。

WindowsNT3.51をLSPマネージャをインストールするには、次の条件が必要です。

- パソコンにWindowsNT3.51がインストールされていること。
- LANボードがWindowsNT3.51用ドライバで動作していること。



LSPマネージャをインストールするときは、AdministratorでWindowsNTにログオンする必要があります。

ドライバのインストール

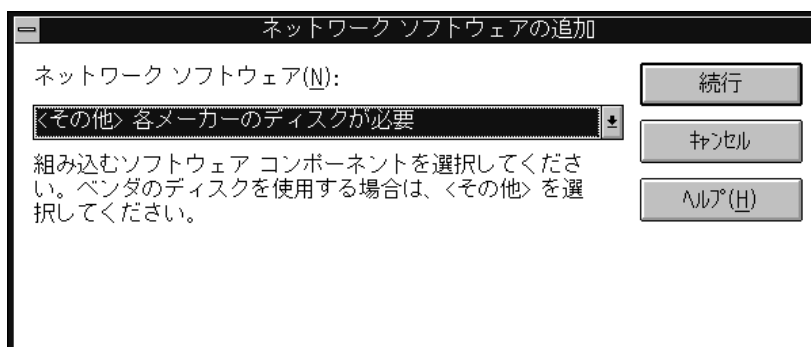
まず初めにLSPのドライバをインストールします。



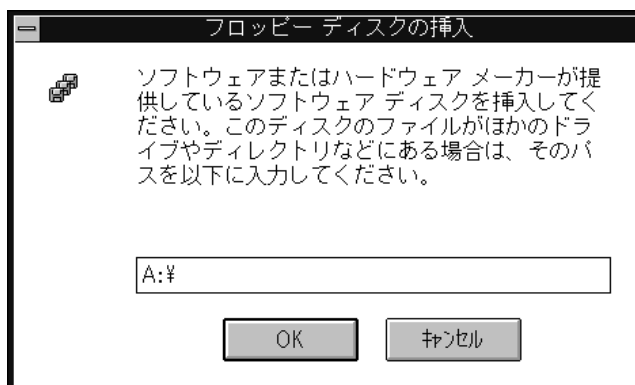
[メイン]グループの[コントロールパネル] - [ネットワーク]を選択します。「ネットワークの設定」ダイアログボックスが表示されます。



- ▼2 [ソフトウェアの追加] ボタンをクリックします。
「ネットワークソフトウェアの追加」ダイアログボックスが表示されます。



- ▼3 ネットワークソフトウェアの一覧から、[<その他> 各メーカーのディスクが必要] を選択し、[続行] ボタンをクリックします。
「フロッピーディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されます。



- ▼4 フロッピードライブにWindowsNT用のローカルプリントサーバユーティリティディスクを挿入し、ドライブのあるディレクトリを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

DOS/V機の場合 : A:¥
PC-9821/9801シリーズの場合 : B:¥
(フロッピーディスクドライブがBドライブのとき)

- ▼5 ドライバのインストールが終わったら、[OK] ボタンをクリックします。

- ▼6 再起動するようにメッセージが現れるので、[再起動する] を選択して、コンピュータを再起動します。

以上でドライバのインストールは終了しました。
続いてLSPマネージャのインストールを行います。

LSPマネージャのインストール

- ▼1 プログラムマネージャの[アイコン]から[ファイル名を指定して実行]を選択します。
「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスが表示されます。
- ▼2 フロッピードライブにWindowsNT用のローカルプリントサーバユーティリティディスクを挿入し、次のように入力し、[OK]ボタンをクリックします。

DOS/V機の場合	:	A:¥SETUP.EXE
PC-9821/9801シリーズの場合	:	B:¥SETUP.EXE

(フロッピーディスクドライブがBドライブのとき)
- ▼3 [OK]ボタンをクリックすると、インストーラが起動します。
以降、インストーラの指示にしたがって、操作してください。

プリンタポートの設定

- ▼1 [メイン]グループの[プリントマネージャ]を開き、[プリンタの作成]を行い、使用するプリンタのドライバを選択します。
- ▼2 [印刷先]を開き、[その他]を選択します。
- ▼3 一覧より、「LSP Monitor」を選択します。
- ▼4 ネットワーク上のLSPを検索し、発見したLSPの一覧が表示されるので、出力したいプリンタに接続されているLSPを選択します。
- ▼5 出力先ポートとして、「LSP-「LSP名(手順4で選択したLSP)」」が作成されます。
- ▼6 [コントロールパネル]の[プリンタ]を開き、LSPが接続されているプリンタのアイコンを選択し、[プリンタ]メニューの[プリンタ情報]を選択します。
プリンタ情報ダイアログボックスの[印刷先]で、LSPポート(「LSP-meIco」等)を選択します。



ネットワーク内にLSPに接続されている複数のプリンタがある場合は、それぞれのプリンタに対して、「プリンタポートの設定」の操作をしておくと、アプリケーション側で、使用するプリンタを選択することができます。

LSPポートの削除



LSPポートを削除するときは、AdministratorでWindowsNTにログオンする必要があります。

LSPポートを削除する場合は、LSPマネージャをアンインストールしてください。

LSPマネージャのアンインストールについて



LSPマネージャをアンインストールするときは、AdministratorでWindowsNTにログオンする必要があります。

WindowsNTでLSPマネージャをアンインストールする場合は、以下の手順で行ってください。LSPマネージャをアンインストールしてもLSPドライバは削除されません。



1 プログラムマネージャの[LSP32 for WindowsNT]アイコンを開き、[アンインストール]を選択します。



2 表示される画面に従って操作してください。



3 [スタート]メニューの[設定]-[コントロール パネル]-[ネットワーク]を選択し、[ネットワーク]ダイアログボックスの[サービス]タブをクリックして開き、「MELCO LBR/LOR/LSPシリーズ 用ドライバ」を選択し、削除してください。

LSPマネージャの起動



LSPマネージャを起動するときは、AdministratorでWindowsNTにログオンする必要があります。

LSPマネージャを起動したいときは、画面下部に表示されている[LSP]アイコンから起動することができます。

[LSP]アイコンをクリックしてメニューを表示します。メニューから[LSPマネージャ]を選択します。

LSPマネージャのメニューバーに「検出中」というメッセージが表示され、ネットワーク上に接続されているLSPを検出します。

LSPマネージャの起動が完了するとメインメニューが表示されます。

LSPマネージャの設定については、第5章「LSPマネージャの設定」を参照してください。



LSPが検出できないときは、P. 83「Q&A情報」を参照してください。

Chapter 5



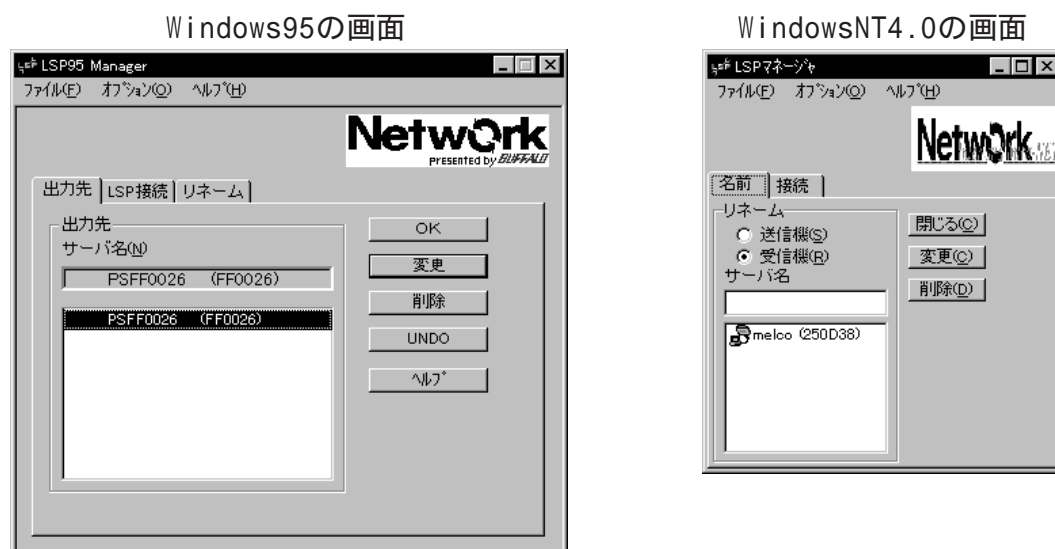
第5章 LSPマネージャの設定

本章では LSPマネージャの使用方法および設定方法について解説します。

- 5-1 LSPマネージャの操作
- 5-2 LSPマネージャで出力先を設定する
- 5-3 ネットワーク上のLSPを接続する
- 5-4 LSPの名称変更
- 5-5 プリントスプーラ

5-1 LSP マネージャの操作

LSP マネージャのメインメニューは「出力先」、「LSP 接続先」、「リネーム」のタブがあります。また、「オプション」メニューには「設定」と「再検索」の2つのメニューがあります。



WindowsNT4.0/NT3.51用のLSPマネージャには、出力先を設定する項目はありません。プリンタポートの設定を行い、プリンタの出力先ポートとしてLSPのポートを選択してください。

参照 → WindowsNT4.0の場合 P.40 「プリンタポートの設定」

参照 → WindowsNT3.51の場合 P.47 「プリンタポートの設定」



WindowsNT4.0/3.51でLSPマネージャを起動するときには、Administratorの権限を有するユーザでログオンしている必要があります。

出力先

LANボードが搭載されているパソコンから印刷する場合には出力先(接続する受信機モードのLSP)を指定する必要があります。

LSPマネージャを実行して出力先のLSPを指定してください。

ただし、次のパソコンから出力先の指定をすることはできません。

- LSPマネージャをインストールしていないパソコン
- セントロニクスやプリンタネットワークで送信機のLSPに接続しているパソコン

LSP接続(WindowsNT4.0/3.51では「接続」)

セントロニクスやプリンタネットワークで接続されているパソコンから印刷する場合は、そのパソコンに接続されているLSPと印刷したいプリンタに接続されているLSPをLSPマネージャで接続する必要があります。この接続はLSPマネージャをインストールした、LANボード搭載パソコン上で行います。

リネーム(WindowsNT4.0/3.51では「名前」)

工場出荷時、LSPには“PS + MACアドレスの下6桁”という名前がついています。(MACアドレスはLSP本体裏面に貼り付けられたラベルに記載してあります)。リネームメニューではLSPに、出荷時の名前から接続されたプリンタやパソコンの便宜上の名前に変更することができます。

オプション / 環境設定

「オプション」メニューの中の「設定」メニューを起動します。

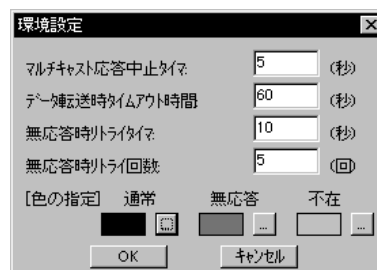


Windows95の場合「オプション」メニュー以外に、タスクバーの[LSP][設定]からも選択することができます。

Windows95の画面



WindowsNT4.0の画面



マルチキャスト応答中止タイマ

検索時LSPの応答を待つ時間。最後のLSPからの応答の後、この時間内に他のLSPからの応答を受けなければ、他にLSPはないものと見なします。

印刷時タイムアウト時間

受信機LSPに対して知らせる、次のデータパケットを送るまでの最大待ち時間。この時間を過ぎてもデータパケットが来ない場合、受信機は受信待ち状態を終了します。

無応答時リトライタイム

通信先のLSPから応答がない場合のリトライ間隔。

無応答時リトライ回数

通信先のLSPから応答がない場合のリトライ回数。

色の指定

リストボックス中の文字色は、以下の三種類について設定できます。

通常 : ネットワーク上で応答のあったLSP。デフォルトは黒。

無応答: ネットワーク上で応答はないが過去に検出されて登録されているLSP。デフォルトは赤。

不在 : アドレス指定のメッセージに対しても応答がなかったLSP。

データ送信時タイムアウト時間

プリンタの準備ができていない場合、LSPはデータを受け付けません。この時間を過ぎてもプリンタの準備ができない場合、Pspoolは「プリンタを確認してください」というメッセージを表示します。プリンタの用紙切れや紙づまりがないか確認してください。

作業ファイル格納ディレクトリ (Windows95の場合のみ)

印刷するデータを一時的に格納するディレクトリ。

オプション / 再検索

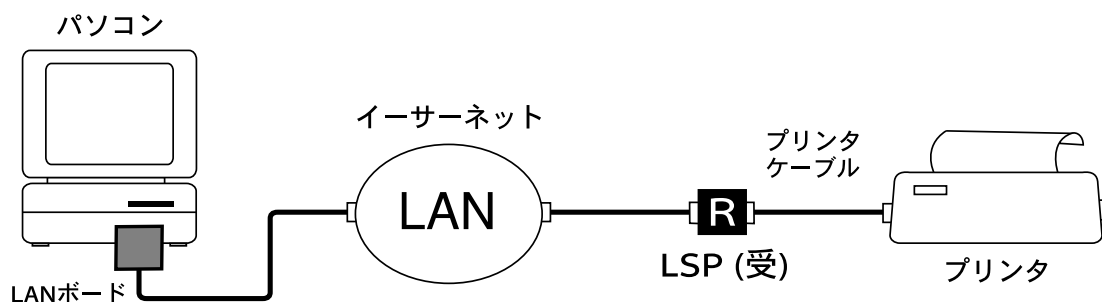
「再検索」メニューを選択するとネットワーク上に接続されているLSPの検索を開始します。

LSPマネージャ起動中に、LSPの電源をONにした時などに使用します。

5-2 LSP マネージャで出力先を設定する

イーサネット で接続された (LAN ボード搭載) パソコン から プリントアウトする場合は、受信側の LSP を指定する必要があります。

LSP マネージャ から 「出力先」メニュー で出力先の LSP を指定します。



WindowsNT4.0/3.51の場合は、LSP マネージャで出力先を設定する必要がないため、この項目がありません。そのかわり、プリンタポートの設定を行い、プリンタの出力先ポートとしてLSPのポートを選択してください。

参照 → WindowsNT4.0の場合 P.40 「プリンタポートの設定」

参照 → WindowsNT3.51の場合 P.47 「プリンタポートの設定」



Windows95の場合

タスクバーのトレイにあるLSPアイコンを右クリックしてメニューから「LSPマネージャ」を実行します。

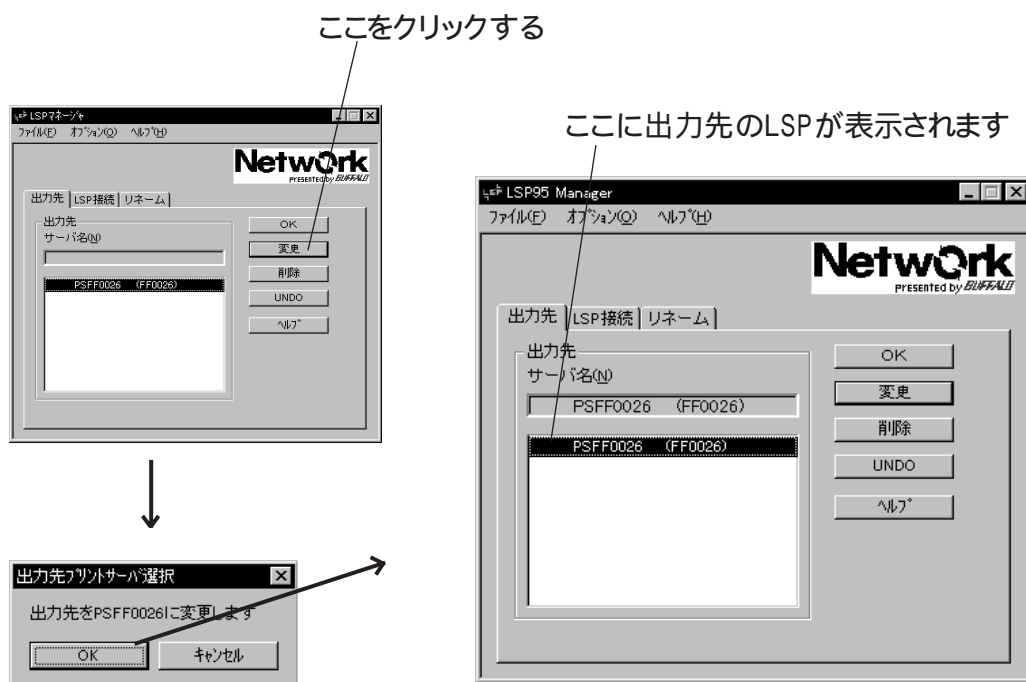
Windows3.1の場合

LSP マネージャグループの「LSP マネージャ」アイコンをクリックするとLSP マネージャはネットワークに接続されているLSPの検索を開始します。



「出力先」タブを選択します。

- 3** 受信機モードに設定されたLSPが表示されますので出力したいプリンタが接続されているLSPを選択し、[変更]をクリックします。



- 4** 選択が完了したら「OK」を押します。
LSPマネージャダイアログボックスが閉じます。

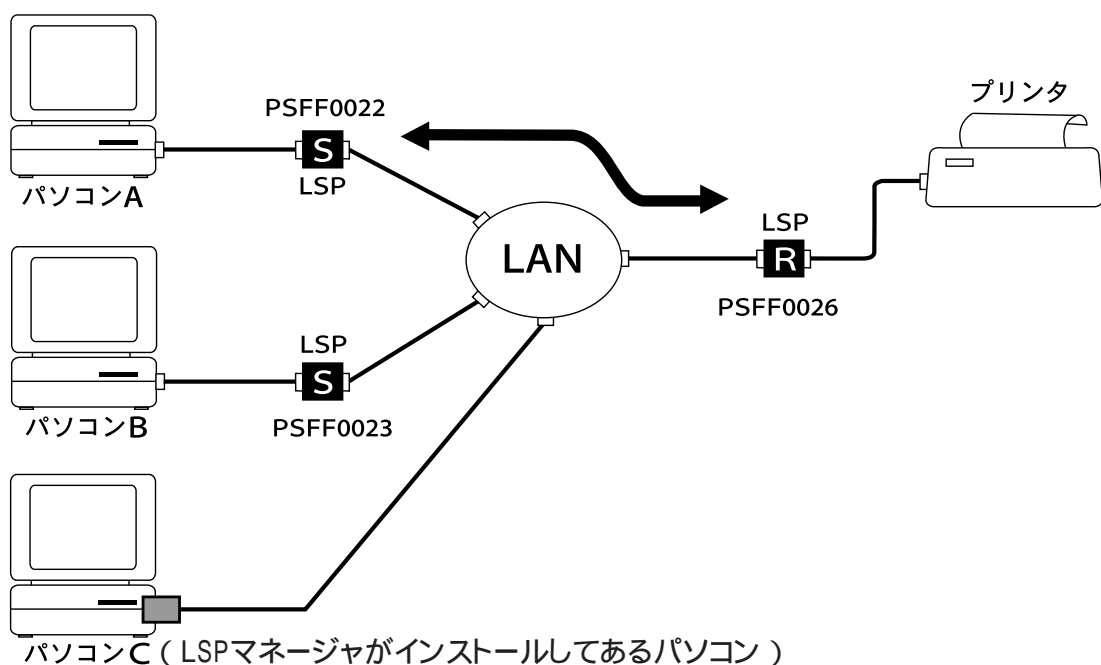
! これでLSPマネージャがネットワークを経由してプリンタ(受信機LSP + プリンタ)に接続されたことになります。しかし、これだけの設定では、LSPマネージャはリダイレクト機能により、ファイルとして出力されてしまいます。必ず、Windowsで印刷先のポートを、Windows95の場合は「LSP: (LSP-Manager)」に、Windows3.1の場合は「FILE:」に設定してください。

参照 → P.75 「第7章 プリントアウトのしかた」

! 出力先のLSPに接続されているプリンタのプリンタドライバを正しく設定してください。

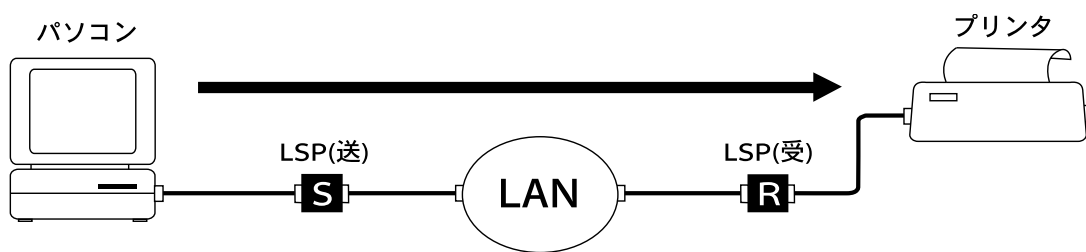
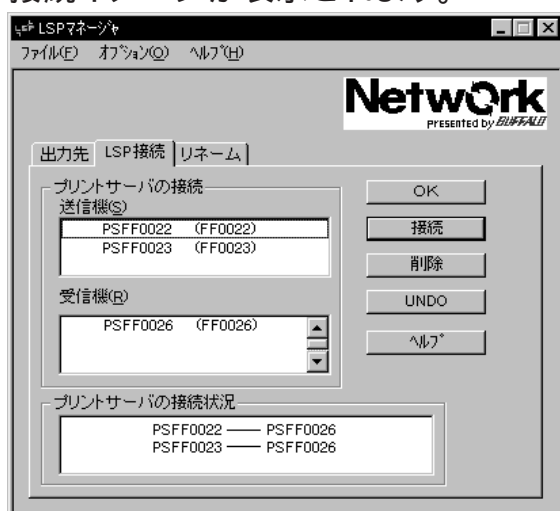
5-3 ネットワーク上のLSPを接続する

LSPマネージャにより、ネットワーク上のLSP同士を接続します。
LSPマネージャは、LANボードを搭載したパソコンにしかインストールできませんので、ここではパソコンCにインストールしたLSPマネージャでLSP接続をします。
LSPの送信機を接続したパソコンからプリントアウトする場合は、ネットワークで接続されているLSPマネージャをインストールしたパソコンから送信機と受信機のLSP接続を設定します。



- ▼ **1** パソコンCでLSPマネージャ画面の「LSP接続」(WindowsNT4.0/3.51では「接続」)タブをクリックするとLSP接続ダイアログボックスが表示されます。ここではネットワーク上に3つのLSPが接続されているので、3つのデフォルトネームが表示されます。

- ▼2 ここで送信側のLSPと接続先のLSPをクリックし、「接続」をクリックします。プリントサーバーの接続状況表示欄に選択したプリントサーバーの接続イメージが表示されます。



これで送信側のLSPに接続されたパソコンからネットワークを介して受信側に接続されたLSPのプリンタから出力できるようになります。出力先のポート設定は、送信機が接続されているポート(「LPT1:」 「PRN:」など)にしてください。

5-4 LSPの名称変更

LSPの出荷時設定には、PS + “ MACアドレスの下6桁 ”がLSPの名前としてあらかじめ登録されています(MACアドレスはLSP本体裏面に貼りつけてあるラベルに記載してあります)。この名称では運用上不便なことが多いので、各LSPに便宜上の名前をつけることができます。

ここでは、受信側のLSPの名前を「LBP304」に変更してみます。



変更されたLSPの名前はLSP本体内で記憶していますので、パソコンの電源またはLSP本体の電源を切っても保持されています。

1 LSPマネージャ画面の「リネーム」タブ(WindowsNT4.0/3.51では「名前」)をクリックすると、リネームダイアログが表示されます。「受信側 (R)」のラジオボタンをクリックして受信側LSPを選択します。

2 サーバー名を変更します。このサーバ名がLSPの名前となります。
LSPに接続されているパソコンやプリンタをわかりやすく区別するために、便宜上の名前をつけることができます。



3 「変更」をクリックします。

▼4

変更内容を確認したら「OK」をクリックします。

「リネーム」タブの画面で送信側(S)を選択することによって、送信側も名前を変更することができます。



WindowsNT4.0/3.51では、「名前が変更できませんでした」と表示されることがありますが、名前は変更されています。

メニューから[オプション]-[再検索]を選択して確認してください。

5-5 プリントスプーラ

LSPマネージャが起動しているパソコンでWindows上からLSPに接続されたプリンタに出力を行う場合、プリントマネージャからのデータを監視するソフトウェアです。

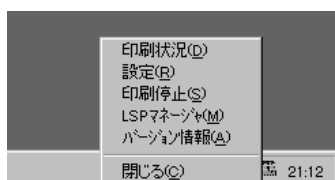
Windows95/WindowsNT4.0/3.51の場合



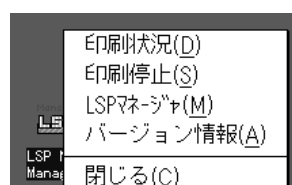
WindowsNT4.0/3.51でプリントスプーラを起動するときは、Administatorの権限を有するユーザでログオンする必要があります。

プリントスプーラで印刷状況を知るためには、タスクバーのトレイ内の[LSP]をクリックしてメニューを表示します(WindowsNT3.51の場合は、画面の下部に表示される[LSP]アイコンをクリックしてメニューを表示します)。

Windows95/WindowsNT4.0

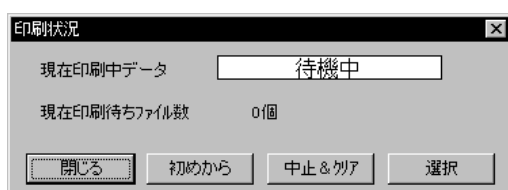


WindowsNT3.51

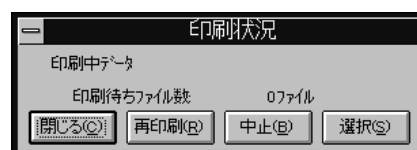


メニューから[印刷状況]を選択します。
「印刷状況」画面が表示されます。

Windows95/WindowsNT4.0

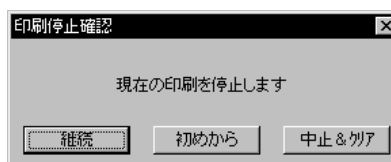


WindowsNT3.51



[閉じる]
[初めから]([再印刷])
[中止&クリア]([中止])

印刷状況の画面を閉じます。
待機中のデータの印刷を最初から再印刷します。
待機中のデータの印刷を停止します。
(タスクバーの[LSP]-[印刷停止]からも選択できます)



[選択] 待機中の印刷データの順番を変更する場合や、一部またはすべての印刷を削除する場合にクリックします。

Windows95



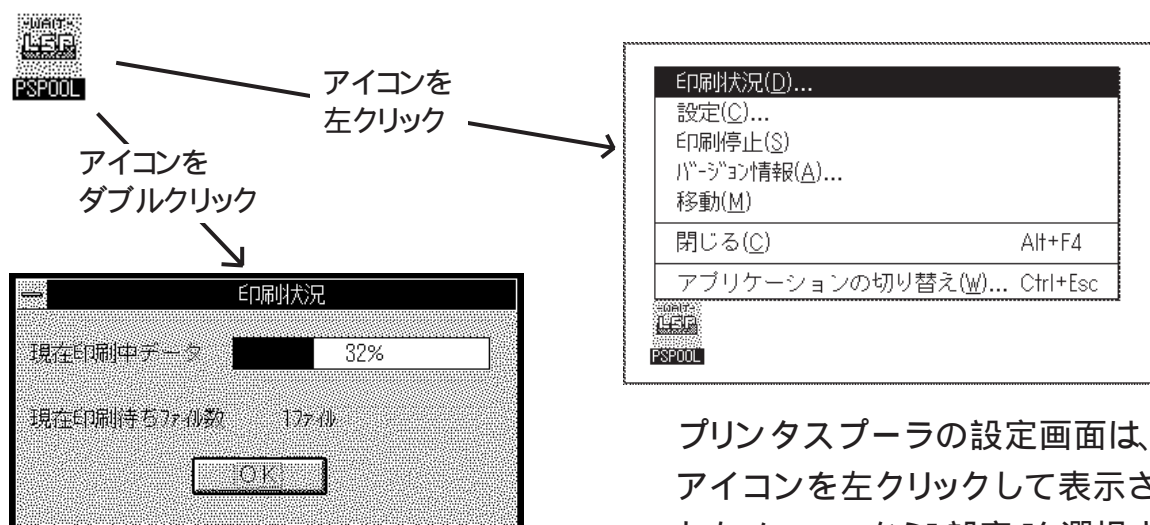
WindowsNT4.0/3.51



ファイル名(ドキュメント名)	LSPスプーラが自動でつける印刷ジョブ名
ステータス	“印刷中”、“印刷待ち”、“スプール中”の3種類で表示(Windows95のみ)
サイズ	印刷データの容量を表示(WindowsNT4.0/3.51のみ)
印刷開始時刻(時刻)	“月”、“日”、“時”、“分”、“秒”の順に表示
[削除]	指定した印刷データを削除します。
[全削除]	すべての印刷データを削除します。
[次出力]	指定した印刷データを次に印刷します。

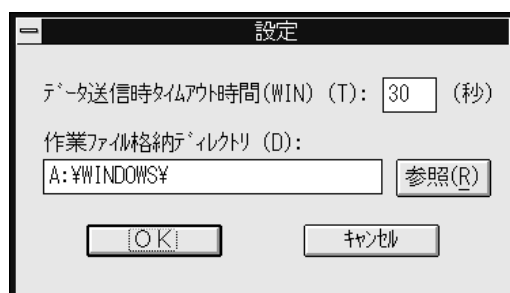
Windows3.1の場合

プリンタスプーラは通常Windows起動時に常駐ソフトとして機能します。プリンタスプーラで印刷状況を知りたい場合には[Alt] + [Tab] キーを押して、プリンタスプーラのタスクを表示するか、またはアイコンをダブルクリックします。次のような「印刷状況」の画面が表示されます。



プリンタスプーラの設定画面は、アイコンを左クリックして表示されたメニューから[設定]を選択すると表示されます。

プリンタスプーラの設定画面は次のとおりです。



データ送信タイムアウト時間

プリンタの準備ができていない場合、LSPはデータを受け付けません。この時間を過ぎてもプリンタの準備ができない場合、プリンタスプーラは「プリンタを確認してください」というメッセージを表示します。プリンタの用紙切れや紙づまりがないか確認してください。

作業ファイル格納ディレクトリ

印刷するデータを一時的に格納するディレクトリを設定します。

MEMO

Chapter 6



第 6 章

DOS版LSPマネージャについて

本章では、DOS版LSPマネージャのインストール方法と使用方法について解説します。

- 6-1 MS-DOSへのインストール
- 6-2 LSPマネージャの操作方法
- 6-3 LSPマネージャの使用方法

6-1 MS-DOSへのインストール

Windows95/3.1をインストールしていないパソコンにLSPマネージャをインストールする場合は、MS-DOSにインストールします。

LSPマネージャはLSPで印刷させたいネットワーク上のすべてのパソコンにインストールして使用します。



プリンタケーブルやプリンタネットワークで送信機のLSPに接続しているパソコンにはインストールしないでください。



LANボードをパソコンに取り付け、MS-DOSを起動します。このとき、弊社製以外のLANボードを使用している場合は、ODIドライバをAUTOEXEC.BATに記述してパソコンを再起動します。

LGY-98/AT、LPC-Tをお使いの方は、I/Oポートアドレスおよび、割り込み番号(IRQ)を確認しておいてください。(各LANボードのマニュアル参照)



対応OSはMS-DOS6.X以降またはPC DOS6.3以降です。Windows95のDOSモードでの使用は動作保証できません。また、インストーラを実行するにはDOSに添付されているEXPAND.EXEが必要になります。MS-DOS6.X以前またはPC DOS6.3以前のものをお使いの方は、ローカルプリントサーバユーティリティの¥DOS¥README.DOCをご覧ください。



ローカルプリントサーバユーティリティfor Windows3.1をフロッピードライブに挿入します。次のように入力して、カレントドライブをフロッピーディスクドライブにしてインストーラを起動します。

DOS/V 機の場合：

C:¥>A:

A:¥>INSTDOSV

PC-9821/9801 シリーズの場合

(Bドライブがフロッピーディスクドライブの場合)：

A:¥>B:

B:¥>INST98

- ▼3 インストーラが起動すると、以下のように表示されます。起動ドライブの入力を要求してきますので起動ドライブを入力します。
(画面はDOS/V機のものです。)

LSP INSTALLER(DOS) Ver.X.X.X for DOS/V
Copyright(C) 1996 MELCO Inc. All rights reserved

STEP 1: < 起動ドライブの指定 >
起動ディスクのドライブ名 A - Z を指定してください。
[入力省略時 C] =

- ▼4 ODIドライバの記述がAUTOEXEC.BATにない、または発見できない場合は、LANボードメーカーについて問い合わせがあります。

LAN カードのメーカーを 1 - 3 で指定してください。
[1:メルコ製 / 2:メルコ製以外 / 3:カード無し] =

弊社製LANボード(LGY-AT/98、LGH、LCI-T2、LPC-T、LGY-VI)をお使いの場合
「1:メルコ製」

上記以外の弊社製LANボードまたは他社製のLANボードをお使いの場合
「2:メルコ製以外」

LANボードをパソコンに取り付けていない場合
「3:カード無し」

! 「2:メルコ製以外」を選択すると手順6のインストール先の指定へ進みます。インストール後NET.CFGとAUTOEXEC.BATをエディタ等で変更してください。
参照→ P.68 「弊社製以外のLANボードをお使いの場合」

! 「3:カード無し」を選択するとインストーラは終了します。パソコンの電源スイッチをOFFにして、LANボードを取り付けてから、再度インストールしてください。

- ▼5 「1:メルコ製」を選択した場合は、1-5の中から使用しているLANボードを選択します。

DOS/V機の場合

LAN カードを 1 - 5 で選択してください。
[1:LGYAT/2:LCIAT/3:LPCAT/4:LGY-VI/5:それ以外] =

PC-9821 / 9801シリーズの場合

LAN カードを 1 - 5 で選択してください。
[1:LGY98/2:LCI98/3:LPC98/4:LPCEP/5:それ以外] =

「LGYAT」「LGY98」「LPCAT」「LPC98」を選択した場合は、割り込み番号 (IRQ) およびI/Oポート番号を入力します。(下の例ではI/Oポートアドレス0300h、IRQ3を入力)

I/O ポート番号を入力してください
I/O ポート番号 = 0300
IRQ 番号を入力してください
IRQ 番号 = 3

「9:それ以外」を選択するとインストーラを終了します。



割り込み番号 (IRQ) は割り込みレベル (INT) とは異なります。右の割り込み番号と割り込みレベルの対応表を参照してください。

割り込み番号	割り込みレベル
IRQ3	INT0
IRQ5	INT1
IRQ6	INT2
IRQ12	INT5

- ▼ **6** LSPマネージャのインストール先の指定をします。
C:¥LSP¥であれば を押します。

STEP 3: < インストール先の指定 >
インストール先ディレクトリ名を指定してください。
[入力省略時 C:¥LSP¥] =

- ▼ **7** インストールを開始します。 を押します。

STEP 4: < ファイルのコピー >
インストールを開始します。よろしいですか？
[入力省略時 Yes / いいえ ならば N] =

- ▼ **8** ファイルのコピーが終了したら、設定ファイルの更新を行いますので キーを押します。
書き換えを行わない場合は、LSPをインストールしたディレクトリに設定例(CONFIG.LSPおよびAUTOEXEC.LSP)が格納されます。その場合は、エディタなどで設定ファイルの更新をする必要があります。

STEP 5: < 関係設定ファイルの更新 >
C:¥AUTOEXEC.BAT を書き換えます。
元のC:¥AUTOEXEC.BATはC:¥AUTOEXEC.LSPにバックアップされます。
書き換えしない場合は修正例を C:¥LSP¥ に格納します。
書き換えてよろしいですか？

- ▼ **9** これで、インストールは完了です。フロッピードライブから、ローカルプリントサーバユーティリティを取り出して、パソコンをリセットします。

■ トラブルシューティング

弊社製以外のLANボードをお使いの場合

LSPマネージャのインストール手順5で「2:メルコ製以外」を選択した場合、「NET.CFG」および「AUTOEXEC.BAT」などの設定ファイルを変更する必要があります。*印の箇所をエディタなどで変更してください。変更後パソコンを再起動してください。

● NET.CFG(LSPをインストールしたディレクトリにあります)

Link Driver *****	*****はODIドライバ名
INT *	*はLANボードの割り込み番号(IRQ)
PORT *	*はLANボードのI/Oポートアドレス
FRAME ETHERNET_802.3	} 必要な場合どちらかを記述する
FRAME ETHERNET_802.2	
FRAME ETHERNET_II	802.2/802.3の後でなければいけません
PROTOCOL MEL 5053 ETHERNET_II	TCP/IPを使用する場合に必要

「INT *」と「PORT *」の行はプラグアンドプレイ対応のLANボードでは必要ありません。

NET.CFGは起動したLSL.COMと同じディレクトリのものが読み込まれます。そのディレクトリにない場合は、環境パスに従って検索を行い読み込まれます。LSL.COMの起動時に読み込まれたNET.CFGのディレクトリが表示されます。正しく起動しない場合は、読み込まれたNET.CFGを変更してください。

● AUTOEXEC.BAT(LSPをC:¥LSPへインストールした場合)

C:¥LSP¥LSL.COM	
C:¥LSP¥*****.COM	*****.COMはODIドライバ名
C:¥LSP¥LSPODI.COM ¥LSP	WindowsでもLSPを使用している場合は、下線部を¥Windowsにしてください。

MS-DOS Ver6.2、PC DOS Ver6.3より前のDOSをお使いの方へ

DOSのバージョンによりインストールができない場合は、ローカルプリントサーバユーティリティの中にある「¥DOS¥README.DOC」の「MS-DOS Ver6.2、PC DOS Ver6.3より前のDOSをお使いの方へ」を参照して、手でインストールしてください。

6-2 LSP マネージャの操作方法

ここでは、DOS版LSP マネージャの操作方法について説明します。LSP マネージャの機能については、P.18を参照してください。

LSP マネージャの起動方法

DOS 上から次のコマンドを入力して LSP マネージャを起動します。

C:¥>LSP

LSP マネージャの終了方法

キーを押すと、「LSP マネージャを終了します」と表示されますので、 キーを押します。

LSP マネージャのキー操作

LSP マネージャのキー操作は以下の通りです。

画面切り替えキー

<input type="text" value="F1"/>	出力先選択画面にする
<input type="text" value="F2"/>	LSP 接続設定画面にする
<input type="text" value="F3"/>	リネーム画面にする
<input type="text" value="F4"/>	パラメータ設定画面にする

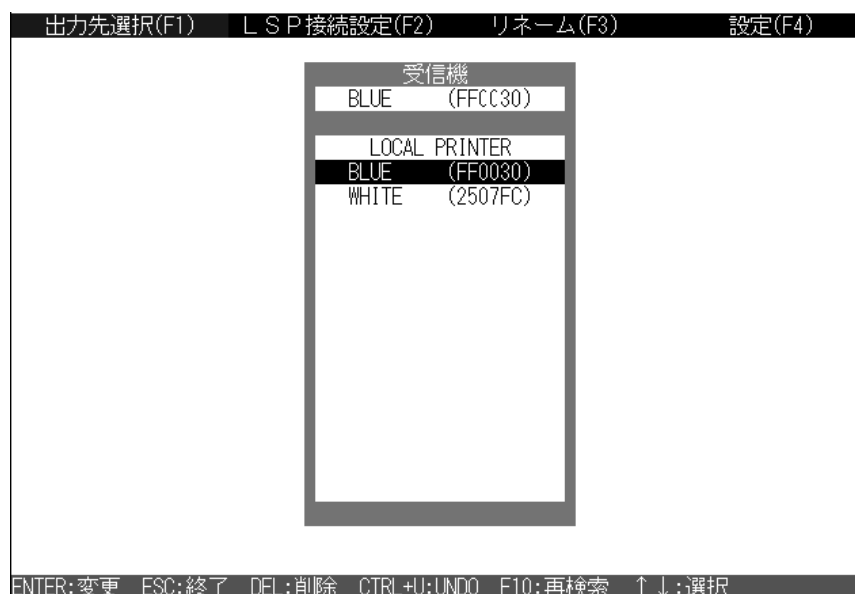
操作キー

<input type="text" value="Enter"/>	設定値変更
<input type="text" value="Esc"/>	LSP マネージャ終了(または再検索の中止)
<input type="text" value="Delete"/>	削除
<input type="text" value="Ctrl"/> + <input type="text" value="U"/>	アンドゥ
<input type="text" value="F10"/>	LSP を再検索する
<input type="text" value="↑"/>	カーソル上移動
<input type="text" value="↓"/>	カーソル下移動
<input type="text" value="←"/>	カーソル左移動
<input type="text" value="→"/>	カーソル右移動

6-3 LSP マネージャの使用法

出力先選択

まず、LSP マネージャを起動すると、下図のように出力先選択の画面が表示されます。



出力先選択の画面では、以下のことが設定できます。

- 出力先LSPの選択
- ローカルプリンタ / リモートプリンタの切り替え

リモートプリンタの場合、出力先LSPの設定は必ずしておく必要があります。

出力先LSPを選択する場合

出力先LSPの所へカーソルを移動させ、**Enter** を押します。

ローカルプリンタ / リモートプリンタの切り替えをする場合

出力先をLSPからローカルプリンタに変更する場合

「LOCAL PRINTER」へカーソルを持っていき、**Enter** を押します。

出力先をローカルプリンタからLSPに変更する場合

「REMOTE PRINTER」へカーソルを持っていき、**Enter** を押します。

接続可能なLSPが表示されるので、出力先LSPへカーソルを持っていき、**Enter** を押します。

LSPをリストから消去する場合

↑ ↓ で消去するLSPを選択して、Delete を押します。

LSP 接続設定

F2 を押すと「LSP接続設定」の画面になります。



送信機LSPの選択

↑ ↓ ← → を押して、「送信機」ウインドウの中の送信機LSPにカーソルを合わせ、Enter を押します。送信機LSPが選択されます。

受信機LSPの選択

↑ ↓ ← → を押して、「受信機」ウインドウの中の受信機LSPにカーソルを合わせ、Enter を押します。受信機LSPが選択されます。

LSPをリストから消去する場合

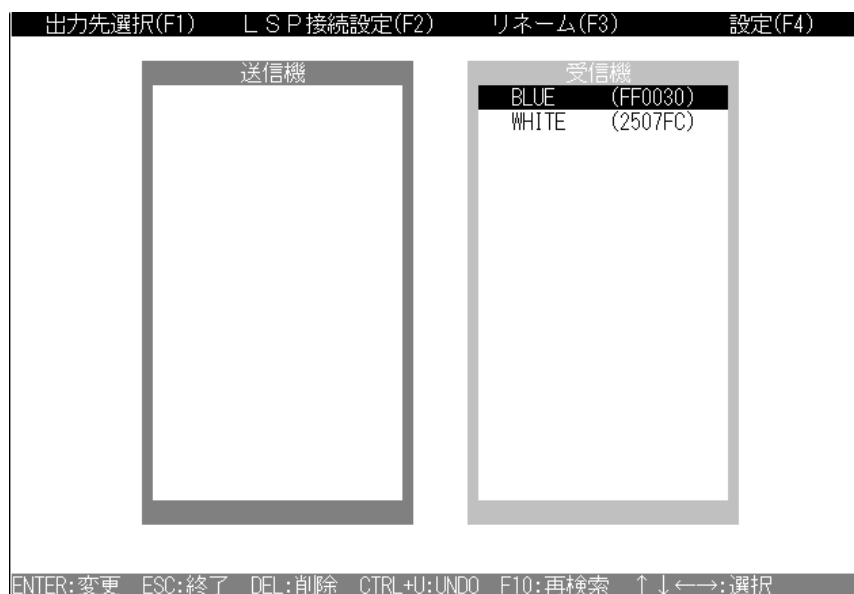
↑ ↓ で、消去するLSPを選択して Delete を押します。

選択後、「*****の接続先を++++++から#####に変更します」と表示されますので、Enter を押します。

LSPの接続状況が「プリントサーバ接続状況」のウインドウに表示されますので確認してください。

リネーム

F3 を押すとリネーム画面になります。



1 **↑** **↓** **←** **→** を使い、名前を変更したいLSPにカーソルを合わせます。

2 **Enter** を押すと入力窓が表示されるので、名前を入力します。

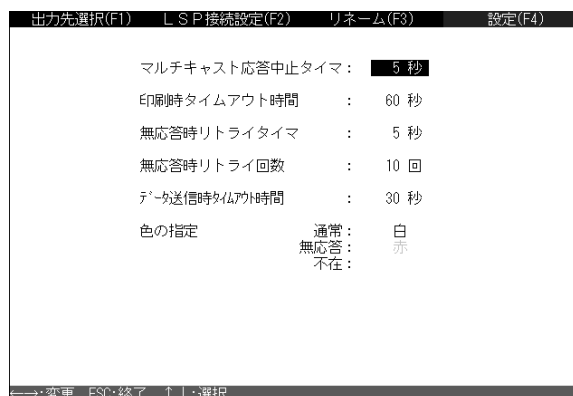
3 「***** から++++++に変更します」と表示されるので、**Enter** を押します。画面で名前が変更されたことを確認します。

LSPをリストから消去する場合は **↑** **↓** **←** **→** で、消去するLSPを選択して **Delete** を押します。

設定

[F4] を押すと、設定画面になります。

[↑] **[↓]** により変更したい項目にカーソルを移動して、**[←]** **[→]** で設定を変更します。



マルチキャスト応答中止タイマ

検索時にLSPの応答を待つ時間。最後のLSPからの応答の後、この時間内に他のLSPからの応答を受けなければ、他にLSPはないものと見なします。

印刷時タイムアウト時間

受信機サーバに対して知らせる、次のデータパケットを送るまでの最大待ち時間。この時間を過ぎてもデータパケットが来ない場合、受信機は受信待ち状態を終了します。

無応答時リトライタイマ

通信先のLSPから応答がない場合のリトライ間隔。

無応答時リトライ回数

通信先のLSPから応答がない場合のリトライ回数。

データ送信時タイムアウト時間

プリンタの準備ができていない場合、LSPはデータを受け付けません。この時間を過ぎてもプリンタの準備ができていない場合、プリンタスプーラは「プリンタを確認してください」というメッセージを表示します。プリンタの用紙切れや紙づまりがないか確認してください。

色の指定

リストボックス中の文字色は、以下の三種類について設定できます。

通常 : ネットワーク上で応答のあったLSP。デフォルトは白。

無応答: ネットワーク上で応答はないが過去に検出されて登録されているLSP。デフォルトは赤。

不在 : アドレス指定のメッセージに対しても応答がなかったLSP。

■ トラブルシューティング

LSPマネージャが起動しない場合

同じネットワーク内でLSPマネージャ(DOS版、Windows版ともに)は複数同時に起動できません。もし、LSPマネージャが他のパソコンから起動していないにもかかわらずLSPが起動しない場合は、LSPと接続しているパソコンからDOSのコマンドラインで「LSPCAN.COM」を実行してください。

ディスプレイについて

LSPのDOSマネージャはカラー表示に対応しています。8階調白黒LCD表示では若干見にくくなる可能性があります。(LCDの特性上の問題です) 白黒LCD表示の場合、ノーマル表示で『白、黄、シアン、緑』は黒、それ以外は白で表示されます。

Chapter 7



第7章

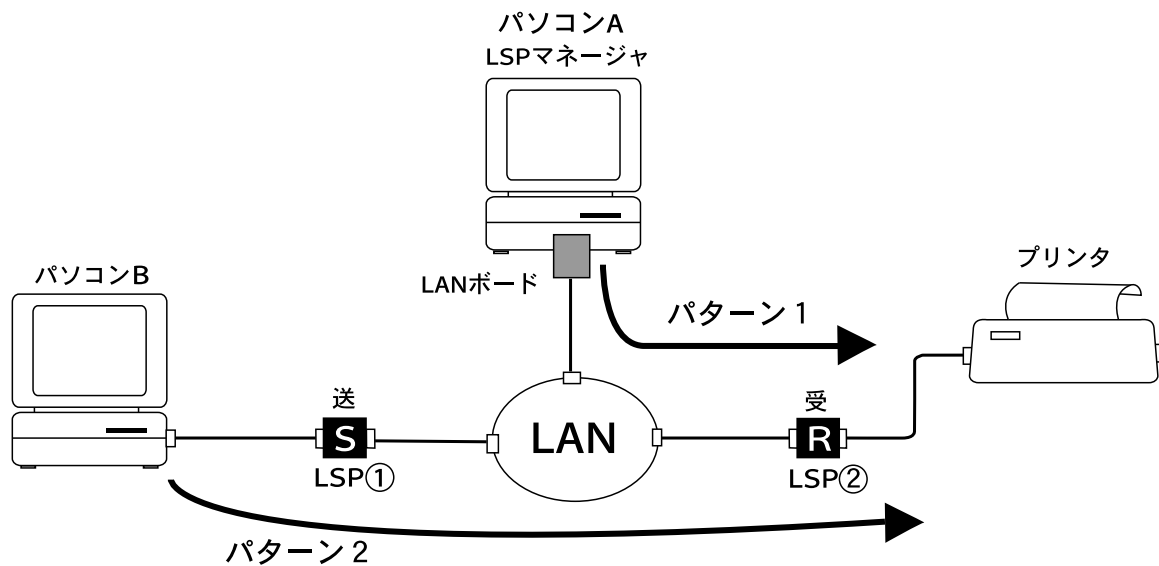
プリントアウトのしかた

ここではLSPによりネットワークに接続されたプリンタに各パソコンから出力する方法について解説します。

- 7-1 プリントアウトのパターン
- 7-2 パターン1(LSPマネージャをインストールしたパソコン LSP)の場合
- 7-3 パターン2(パソコン + LSP LSP)
- 7-4 使用に際しての注意事項

7-1 プリントアウトのパターン

LSPを用いたプリントネットワークでは次の出力パターンがあります。ここでは2つのパターンについてのプリントアウトの方法について解説します。



<プリントアウトのパターン>

7-2 パターン1(LSPマネージャをインストールしたパソコン LSP)の場合

Windows95版LSPマネージャをインストールしたパソコンの場合
LSPマネージャをインストールしたWindows95パソコンから印刷する場合は、
LSPを使用して印刷するプリンタのポート設定を[LPT:]から[LSP:(LSP-
Manager)]にする必要があります。

- 1 [スタート] - [設定] - [プリンタ]を選択します。
- 2 プリンタを選択して[ファイル] - [プロパティ]を選択してください。
- 3 「詳細」タブをクリックして「印刷先のポート」を[LSP:(LSP-Manager)を使用]に変更してください。



- 4 [OK]をクリックしてプリンタのプロパティを終了します。

以上の操作でLSPマネージャからの印刷データは[LSP]経由でプリンタに出力されます。

Windows3.1版LSPマネージャをインストールしたパソコンの場合

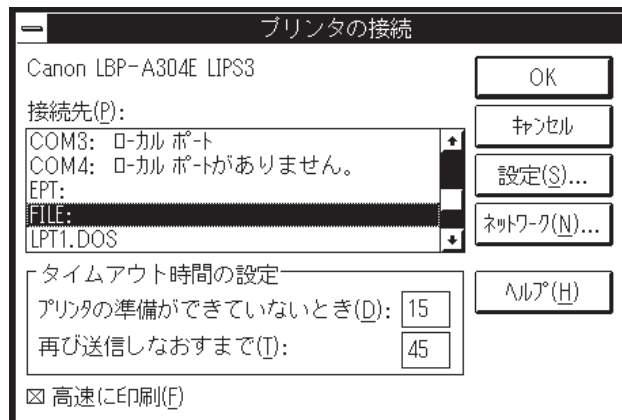
LSPマネージャをインストールした、LANボード搭載のパソコンAからプリントアウトする場合は、Windowsのコントロールパネルの「プリント」メニューにより出力先を「FILE:ファイル」にする必要があります。LSPマネージャをインストールする前にプリンタが設定されていると、自動的に出力先が「FILE:」に変更されます。

▼1 Windows3.1のプログラムマネージャから「コントロールパネル」を選択します。

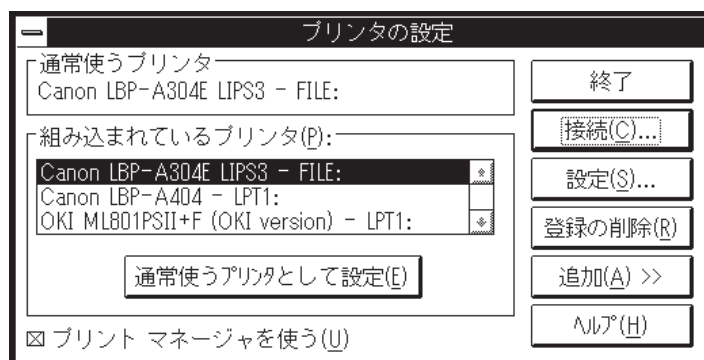
▼2 「コントロールパネル」の「プリンタ」アイコンをダブルクリックします。「プリンタの設定」ダイアログボックスが表示されます。

▼3 LSPマネージャのインストール後にプリンタドライバをインストールした場合は、「接続」を選択して「接続先(P)」を「FILE:」に変更します。接続先リストボックスの中から「FILE:」を選択し、「OK」をクリックして接続先を「FILE:」にします。

LSPに対して印刷するときは、「FILE:」を選択し、ローカルプリンタに印刷するときは、通常「LPT1:」を選択します。



- ▼4 「組み込まれているプリンタ(P)」の表示が「Canon LBP-A304E LIPS3 - FILE:」に変更されます。「通常使うプリンタ」に「Canon LBP-A304E LIPS3 - FILE:」が登録されていることを確認して「終了」を押します。



以上の操作でLSPマネージャからのプリントアウトデータは「FILE」として「出力先」に登録されたLSPを経由してプリンタに出力されます。



アプリケーションによっては、出力先が「LPT1:」から「FILE:」に変更されない場合があります。そのときは、アプリケーション内でプリンタの設定を「LPT1:」「FILE:」に変更してください。

WindowsNT版LSPマネージャをインストールしたパソコンの場合

プリンタの出力先ポートとしてLSPのポートを作成・選択してください。

参照→ WindowsNT4.0の場合 P.40 「プリンタポートの設定」

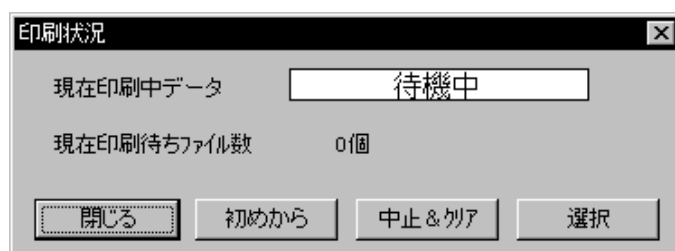
参照→ WindowsNT3.51の場合 P.47 「プリンタポートの設定」

Windowsアプリケーションから印刷する

Windows95の「ワードパッド」、Windows3.1の「ライト」などのお手持ちのWindowsアプリケーションからの「印刷」を実行してみてください。

「印刷」の実行中に「プリンタスプーラ」を起動させると印刷の状況が表示されます。(画面はWindows95のもので)

参照→ P.59 「5-5 プリンタスプーラ」



<印刷実行中の プリンタスプーラ 画面例>

7-3 パターンⅡ(パソコン + LSP (LSP))

■ プリンタケーブルやプリンタネットワークで接続されたパソコンからのプリントアウト

あらかじめLSPマネージャがインストールされたパソコンAで、送信機側のLSPと受信機側のLSP を接続しておいてください。

参照→ P.55 「5-3 ネットワーク上のLSPを接続する」

LSPを送信機モードで接続したWindowsパソコンから印刷する方法は、どのOSを使用しているか、パソコンとプリンタをプリンタケーブルで直接接続した場合と同じです。LSPを意識することなく印刷することができます。

7-4 使用に際しての注意事項

LSPは双方向通信には対応していないため、次のようなことはできません。

- 双方向通信をするプリンタでは正常に印刷できません。ただし、プリンタ本体やプリンタドライバの設定で双方向通信を無効にできることがあります。詳しくは、プリンタのマニュアルを参照するか、プリンタのメーカーにお問い合わせください。
- WPS (Microsoft WINDOWS PRINTING SYSTEM) モードは使用できません。WPS対応プリンタを使用する場合は、WPSモードを使用しないでください。
WPS専用プリンタでも、WPSモードを使用せずに印刷する方法がマニュアルに記載されているものもあります。すでにWPS専用プリンタを使用されている場合は、プリンタのマニュアルをご確認ください。
- アプリケーション / OS / CPUがプリンタチェックをしている場合、プリンタネットワーク製品は使用できません。各メーカーにお問い合わせの上、アプリケーションの環境設定などでプリンタチェックを行わないように設定してください。



プリンタチェックとは、アプリケーションやOS、CPUの仕様の一種で、プリンタが接続されているかどうかを調べる機能です。

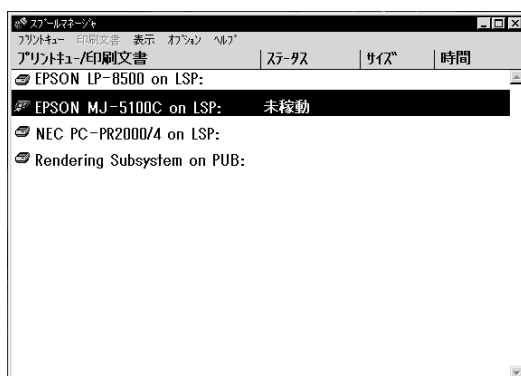
使用するプリンタについて

LSPは双方向プリンタに対応していません。双方向プリンタを使用する場合は、双方向モードを解除した状態でご使用ください。(詳細はプリンタメーカーのマニュアルを参照してください)

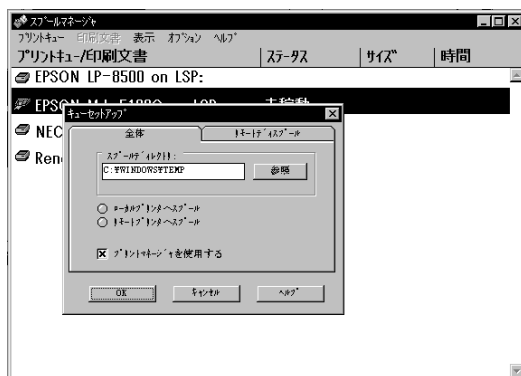
以下に、代表的なプリンタの設定例を示します。

EPSON MJシリーズ/PM-700Cなどの双方向プリンタの場合

▼1 [スタート]-[プログラム]-[Epson]-[スプールマネージャ]を選択してください。



▼2 [プリントキュー]-[セットアップ]を選択します。セットアップ画面が表示されます。



▼3 「プリントマネージャを使用する」のチェックボックスに印をつけてください。

Canon BJCシリーズの場合

プリンタに添付されているプリンティングシステムは双方向の設定しかできないため使用できません。Windows95に添付されているドライバを使用してください。(例)

Canon BJC-620Jの場合は「Canon BJC-600J」のドライバを使用してください。

Canon LBP-201Jは双方向モードでしか動作しないため、LSPは使用できません。

Chapter 8

第 8 章

Q & A 情報



インストール編

? Windows3.1でLSPマネージャをインストール中に「ct13dv2.dllはWindowsが使用しているので転送できません」と表示された場合



「ct13dv2.dll」を使用しているアプリケーションが起動中です。アプリケーションを終了してから、インストールしてください。

? Windows3.1起動時に「LSPマネージャのドライバがインストールされていません」と表示された場合



- LANボードが正しく実装されていますか？
- 使用しているLANボードにあったドライバを使用していますか？起動時のメッセージを確認してください。
- NET.CFGファイルに記述されているIRQ No.とPORT No.は、LANボードの設定値と一致していますか？また、他の周辺機器が同じ設定を使用していませんか？
その場合LANボードあるいは他の機器のどちらかの設定を変更してください(詳しくは、各周辺機器のマニュアルを参照してください)。
- NET.CFGファイルは正しく更新されていますか？
P.33(Windows3.1)を参照してNET.CFGファイルの設定を行ってください。

プリント編

? LSPマネージャがネットワーク上に接続されているLSPを検出しない場合



- 接続されているLSPに電源が入っていますか？
- ケーブルはつながっていますか？
- LANボードのポート設定はありますか？(弊社製品では、LGYSETUP等のLANボード設定ユーティリティで設定可能)
- ご使用の環境で、LANボードが正常に動作しているか確認してください。

? Windows3.1でプリンタスプーラを誤って終了してしまった場合



ファイルマネージャにてLSPディレクトリ内のPSP00L.EXEを実行してください。

? 「イーサネットの接続および電源がはいっているか確認してください」と表示される場合



- 接続されているLSPに電源が入っていますか？
- ケーブルはつながっていますか？

? プリントスプーラから「プリンタを確認してください」というメッセージが表示された



- 1) プリンタがオンラインになっているか確認してください。
- 2) プリンタが紙切れ/紙づまりになっていないか確認してください。
- 3) プリンタの処理速度が遅いためタイムアウトを起こしています。

以下の方法で設定を変更してください。

Windows95の場合

環境設定内の「LSPマネージャ」の中の「印刷時タイムアウト時間」と「LSPプールモニタ」の中の「データ送信時タイムアウト時間」の両方の値を大きくしてください。

Windows3.1の場合

プリントスプーラ(Pspool)の設定(C)の中の「データ送信タイムアウト時間」の値を大きくしてください。

WindowsNTの場合

環境設定内の「データ送信時タイムアウト時間」の値を大きくしてください。

ただし、全体の処理速度が低下するおそれがあるため、極端に値を大きくしないでください。

? Windows3.1でプリントマネージャから「プリンタを確認してください」というダイアログが表示された



プリンタが他で使われており、プリントマネージャがタイムアウトを起こしています。

- 1) 「コントロールパネル」の「プリンタ」-「接続」-「タイムアウト時間の設定」で2項目とも値を大きくしてください。
- 2) 「LPT1のプリンタは応答しません」のメッセージ出力後、さらにパソコン出力開始後、約10秒以内に「継続」をクリックしてください。

? DOSアプリケーションで印字データが途中でなくなってしまう場合



パソコン本体の処理速度が遅いためタイムアウトを起こしています。印刷が終了するまで、負荷をかけないでください。

? 印字データが化ける場合



- プリンタまたはプリンタドライバの設定は正しいですか？
- 印刷中にアプリケーションを強制終了していませんか？強制終了した場合はLSPまたはプリンタ内部のメモリに異常なデータが残ってしまいます。送信LSP、受信LSP、プリンタの順に電源を入れ直してください。LSPの場合はいったんACコンセントから電源プラグを抜き、再度差し込みます。
- 印字中に「プリンタを確認してください」とメッセージが表示され1分以上経過していませんか？(LSPは1分以上データが送られてこないと接続を解除してしまいます)

? 「プリンタが使用中です」と表示される場合



他のパソコンから印刷中です。「継続」をクリックしてください。

? Windows3.1用LSPマネージャでEPSON MJシリーズプリンタ使用時に「ディスクがいっぱいです」と表示され、印刷ができない場合



LSPをインストールしたディレクトリにあるPSP00L.INIのEOFTimerの値を30～45秒程度に変更してください。(デフォルト1は5秒、最大255秒です)
ただし、この値を大きくすると、次の印刷開始までの時間が遅くなりますので注意してください。

? LSPマネージャから「接続先変更」または「リネーム」を選択しようとした時、「他のPCで使用中です」と表示され選択できない場合



「接続先変更」「リネーム」は、同じネットワーク内で同時に実行できません。他のパソコン上で実行されていないか確認してください。

? MS-DOS、Windows3.1を使用しているパソコンから印字ができない場合



メニューソフト、圧縮ソフトなどの常駐プログラムとの影響で、ネットワークOSが正常に動作しないことがあります。常駐プログラムをCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATから削除してパソコンを再起動させてください。

? MS-DOS環境でTCP/IPソフト「ETHDRV」を使用させる場合



「ETHDRV」のドライバを常駐させた後、LSPODI.COMを常駐させてください。

? 1台のパソコンから複数のプリンタに同時に印刷する場合



OSがWindows95、Windows3.1、DOSの場合は同時に印刷できません。
WindowsNT4.0 / 3.51の場合はアプリケーション上で印刷が終了すれば他のLSPに切り換えて印刷することができます。

? LSPを使用して印刷するとパソコンが遅くなる場合



LSPマネージャ、LSPスプーラを終了させてください。
LSPの監視が行われなくなる分速くなることがあります。
ただし、LSPスプーラを終了させると印刷状況を見ることができなくなります。

【LSPスプーラの終了方法】

タスクバーのトレイにあるLSPアイコンをクリックし、メニューの
[閉じる]を選択します。

? LSPを使用して双方向印刷ができない場合



LSPは双方向印刷に対応していません。使用しているプリンタの
双方向機能を使用しないでください。

参照→ P.81 「7-4 使用に際しての注意事項」

Windows95編

? LSPが検出できない場合



- ダイアルアップアダプタを使用している場合、LSP95マネージャをインストールするとダイアルアップアダプタに「LSP95 Client」プロトコルがバインドされてしまいます。この場合は、次ページの【LSP95 Clientのバインド解除方法】で、ダイアルアップアダプタの「LSP95 Client」プロトコルを解除してください。
- 複数のLANボード設定にはLSPは対応していません。複数のLANボードが存在するときは「LSP95 Client」をバインドするLANボードを1枚にする必要があります。解除する場合は次ページの【LSP95 Clientのバインド解除方法】の手順に従ってください。

【LSP95 Clientのバインド解除方法】

[コントロールパネル] - [ネットワーク]を選択します。

「ネットワークの設定」画面でLSPで使用しないLANアダプタやダイヤルアップアダプタを選択して[プロパティ]をクリックします。



[バインド]タブを選択して[LSP95 Client]のチェックボックスを解除します。[OK]ボタンをクリックしてください。



「LSP95 Client」プロトコルを使用するLANボードがひとつになるまで手順 ~ を繰り返します。

[OK]ボタンをクリックして、ネットワークのプロパティを終了後、Windows95を再起動します。

? Windows95で動作しているMS-DOSのアプリケーションから印刷ができない場合



LSPはMS-DOSアプリケーションからの印刷には対応していません。

製品仕様

	LSP-LT	LSP-L2	LSP-LPT	LSP-LP2
接続形態	セントロニクス イーサネット (10BASE-T)	セントロニクス イーサネット (10BASE-2)	弊社製プリンタネット ワーク イーサネット (10BASE-T)	弊社製プリンタネット ワーク イーサネット (10BASE-2)
コネクタ	セントロニクス：アンフェノール36ピン フルピッチ		プリンタネットワーク：モジュラジャック（6芯）	
	イーサネット： 10BASE-Tモジュラ ジャック（8芯）	イーサネット： 10BASE2 BNCコネクタ	イーサネット：10BASE-T モジュラジャック（8芯）	イーサネット：10BASE2 BNCコネクタ
温度範囲	0～40			
湿度範囲	20～85%			
定格	9V 700mA（付属のACアダプタによる供給）			

製品仕様は改良のため予告なく変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ
(<http://www.melcoinc.co.jp/>)をご参照ください。

MEMO

保証書について

本製品付属の保証書には保証期間と保証規定が記載されています。内容をお確かめになり、大切に保管してください。

ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとしてご登録いたします。

本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。

ユーザー登録後に製品を譲渡した場合でも、ユーザー登録は変更できません。

修理について

故障と思われる症状が発生したときは、まずマニュアルを参照して設定や接続が正しいか確認してください。改善されない場合は、次の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付し、弊社修理センター宛に製品を直接お送りください。

修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。

宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。

送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。

ハードディスクをお送りいただいた場合、そのハードディスクはフォーマットいたします。必要なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。

修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

製品送付先： 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15
(株)メルコ 修理センター宛
TEL:052-619-1839

チェック項目：	返送先	コンピュータ
	[氏名 / 住所 / 電話番号(内線) / FAX番号]	[本体メーカー名 / 型番 / シリアルNo.]
	平日昼間の連絡先	ハードディスク
	[氏名 / 住所 / 電話番号(内線) / FAX番号]	[メーカー名 / 型番 / シリアルNo.]
	修理対象のメルコ製品名	プリンタ
	弊社製品ハードウェア シリアルNo.	[メーカー名 / 型番 / シリアルNo.]
	弊社製品ソフトウェア シリアルNo.	その他周辺機器
	具体的な症状 / エラーメッセージ	[メーカー名 / 型番 / シリアルNo.]
	発生状況	OS(オペレーティング・システム)
	[始めから / ある日突然 / 環境を変えたら]	[ソフト名 / メーカー名 / バージョン]
	発生頻度	アプリケーション / バージョン
	[必ず / 頻繁 / 時々 / 時間が経つと、他]	[症状に依存性のある場合は詳細も]
		製品以外の添付品
		[付属ソフトなど]

弊社製品の情報は次の方法で入手できます



インター
ネット

<http://www.melcoinc.co.jp/>

(ミラーサーバ <http://www.melcoinc.com/>)



製品
サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15
(株)メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

<東京> 03-5350-7870

月～金 9:30～12:00/13:00～21:00 祝日を除く
土/祝 9:30～12:00/13:00～17:00 日曜日を除く

<名古屋> 052-619-1825

月～金 9:30～12:00/13:00～17:00 祝日を除く
事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認して
おいてください。
・コンピュータ名と使用OS
・本製品の製品名とシリアルナンバー
・設定内容(スイッチ設定など)
・現象(具体的なエラーメッセージなど)



NIFTY
SERVE

MELCO Station <GO SMELCO>



FAX情報

052-614-6911

情報を受け取りたいFAXの電話でダイヤルし、
音声案内に従って操作してください。
プッシュトーンの出るFAXを使用してください。

「メルブック」シリーズ

メモリを知ろう

386マシンをマルチメディアパソコンにする

外部記憶装置をグレードアップしよう

LANを知ろう

CPUアクセラレータを知ろう

イメージクリップボードでホームページを

外部記憶装置を知ろう

イメージクリップセットとWordで

つくろう

Windowsを知ろう

年賀状をつくろう

インターネットを始めよう

1冊1,000円 + 送料270円 書店では販売しておりません。

ミニコンポ 企業での導入事例

お申し込み方法

- | | |
|------------|---|
| 1. インターネット | http://www.melcoinc.co.jp/qa/info3.html |
| 2. FAX情報 | 052-614-6911(BOX No.0800) |
| 3. 郵送 | 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 (株)メルコ 備品販売窓口 |

メルコパソコン教室

「DOS/Vパソコン組み立て体験教室」などを主催する株式会社メルコテクノスクールでは、ネットワーク関連の各種研修も実施しております。出張社員研修なども実施しておりますので、お気軽にご相談ください。

- ・インターネット接続設定教室
- ・小規模LAN構築実践体験教室
- ・LANケーブリング実践体験教室
- ・LAN/WAN構築実践体験教室
- ・光ファイバケーブリング実践体験教室

このほかにも、随時新規カリキュラムを開講中です。お申し込み、お問い合わせは、以下へお願いします。

TEL: 052-251-7911 FAX: 052-249-2460

パソコン教室に関する最新情報は、次の方法でも入手することができます。

- ・インターネット ... <http://www.melcoinc.co.jp/>
- ・NIFTY SERVE ... MELCO Station <GO SMELCO>
- (ミラーサーバ <http://www.melcoinc.com/>)
- ・FAX情報 ... 052-614-6911(BOX No.0803)